



シャーシの取り付け



(注) この章の図は、特に指示がない限り参照専用です。シャーシの実際の外観とサイズは異なる場合があります。

- [シャーシのラックマウント \(1 ページ\)](#)
- [エアーフィルタの取り付け \(26 ページ\)](#)
- [4 支柱ラックのシャーシへのエアーフィルタの取り付け \(27 ページ\)](#)
- [2 支柱ラックのシャーシへのエアーフィルタの取り付け \(ポート側吸気口\) \(30 ページ\)](#)
- [シャーシの接地 \(31 ページ\)](#)
- [シャーシへの AC 電源の接続 \(34 ページ\)](#)
- [シャーシへの DC 電源の接続 \(35 ページ\)](#)

シャーシのラックマウント

シャーシは、シャーシのタイプとラックの要件に基づいて 4 支柱または 2 支柱のラックに取り付けることができます。

- **4 支柱ラック**：次の各項では、4 支柱ラックへのシャーシの取り付けについて説明しています。
 - **4 支柱ラックへのシャーシのラックマウント：手順 1 (2 ページ)**：Cisco NCS-55A1-24H、Cisco NCS 5501、Cisco NCS 5501-SE、Cisco NCS-55A1-48Q6H、Cisco NCS-55A1-24Q6H-S、Cisco NCS-55A1-24Q6H-SS、Cisco NCS 55A1-36H-S、Cisco NCS 55A1-36H-SE-S、Cisco NCS 5502、および Cisco NCS 5502-SE シャーシの取り付け手順が記載されています。
Cisco NCS 55A2-MOD-S、Cisco 55A2-MOD-HD-S、Cisco NCS 55A2-MOD-SE-S、Cisco NCS-55A2-MOD-HX-S、および Cisco NC55A2-MOD-SE-H-S シャーシを 4 支柱ラックの前面支柱に取り付けるには、「**2 支柱ラックへのシャーシのラックマウント：手順 2 (24 ページ)**」の手順を実行します。

- [4 支柱ラックへのシャーシのラックマウント：手順 2 \(11 ページ\)](#) : Cisco NCS-55A2-MOD-HD-S、Cisco NCS-55A2-MOD-HX-S、および Cisco NC55A2-MOD-SE-H-S シャーシの取り付け手順が記載されています。
- **2 支柱ラック**：次の各項では、2 支柱ラックへのシャーシの取り付けについて説明しています。
 - [2 支柱ラックへのシャーシのラックマウント：手順 1 \(21 ページ\)](#) : Cisco NCS-55A1-24H、Cisco NCS 5501、Cisco NCS 5501-SE、Cisco NCS-55A1-24Q6H-S、および Cisco NCS-55A1-24Q6H-SS の取り付け手順が記載されています。
 - [2 支柱ラックへのシャーシのラックマウント：手順 2 \(24 ページ\)](#) : Cisco NCS-55A2-MOD-S、Cisco NCS-55A2-MOD-HD-S、Cisco NCS-55A2-MOD-SE-S、Cisco NCS-55A2-MOD-HX-S、および Cisco NC55A2-MOD-SE-H-S の取り付け手順が記載されています。

4 支柱ラックへのシャーシのラックマウント：手順 1

ここでは、ルータに付属しているラックマウントキットを使用して、4 支柱ラックにルータを取り付ける方法について説明します。



注意 ラックにキャストが付いている場合、ブレーキがかかっているか、または別の方法でラックが固定されていることを確認してください。



(注) Cisco NCS 55A2-MOD-S、Cisco 55A2-MOD-HD-S、Cisco NCS 55A2-MOD-SE-S、Cisco NCS-55A2-MOD-HX-S、および Cisco NC55A2-MOD-SE-H-S シャーシを 4 支柱ラックの前面支柱に取り付けるには、「[2 支柱ラックへのシャーシのラックマウント：手順 2 \(24 ページ\)](#)」の手順を実行します。

次の表に、ラックマウントキットに含まれる品目を示します。

表 1: Cisco NCS-55A1-24H、Cisco NCS 5501、Cisco NCS 5501-SE、Cisco NCS-55A1-48Q6H、Cisco NCS-55A1-24Q6H-S、Cisco NCS-55A1-24Q6H-SS ルータのラックマウントキット

数量	部品
2	ラックマウントブラケット
12	M4 X 6 mm プラス皿ネジ
2	M5 X 12mm なべネジ
2	ラックマウントガイド

数量	部品
2	ラックマウントスライダレール
1	アースラグ

表 2: Cisco NCS 55A1-36H-S および Cisco NCS 55A1-36H-SE-S ルータ用ラックマウントキット

数量	部品
2	ラックマウントブラケット
14	M4 X 6 mm プラス皿ネジ
2	M4 X 6 mm なべネジ
2	ラックマウントガイド
2	ラックマウントスライダレール
1	アースカバープレート
1	アースラグ

表 3: Cisco NCS 5502 および Cisco NCS 5502-SE ルータのラックマウントキット

数量	部品
2	ラックマウントブラケット
18	M4 X 8 mm プラス皿ネジ
2	M4 X 8 mm プラスなべネジ
2	ラックマウントガイド
2	ラックマウントスライダレール
1	アースカバープレート
1	アースラグ

ステップ 1 次の手順で、ラックマウントブラケットをルータに取り付けます。

- a) 次のように、シャーシのどちらの端をコールドアイルに配置するかを決めます。

- ルータにポート側吸気モジュール（赤紫色のカラーリングのファンモジュール）がある場合は、ポートがコールドアイル側になるようにルータを配置します。
- ルータにポート側排気モジュール（青色のカラーリングのファンモジュール）がある場合は、ファンと電源モジュールがコールドアイル側になるようにルータを配置します。

(注) Cisco NCS-55A1-24Q6H-SS モジュールは、ポート側吸気の構成のみをサポートします。

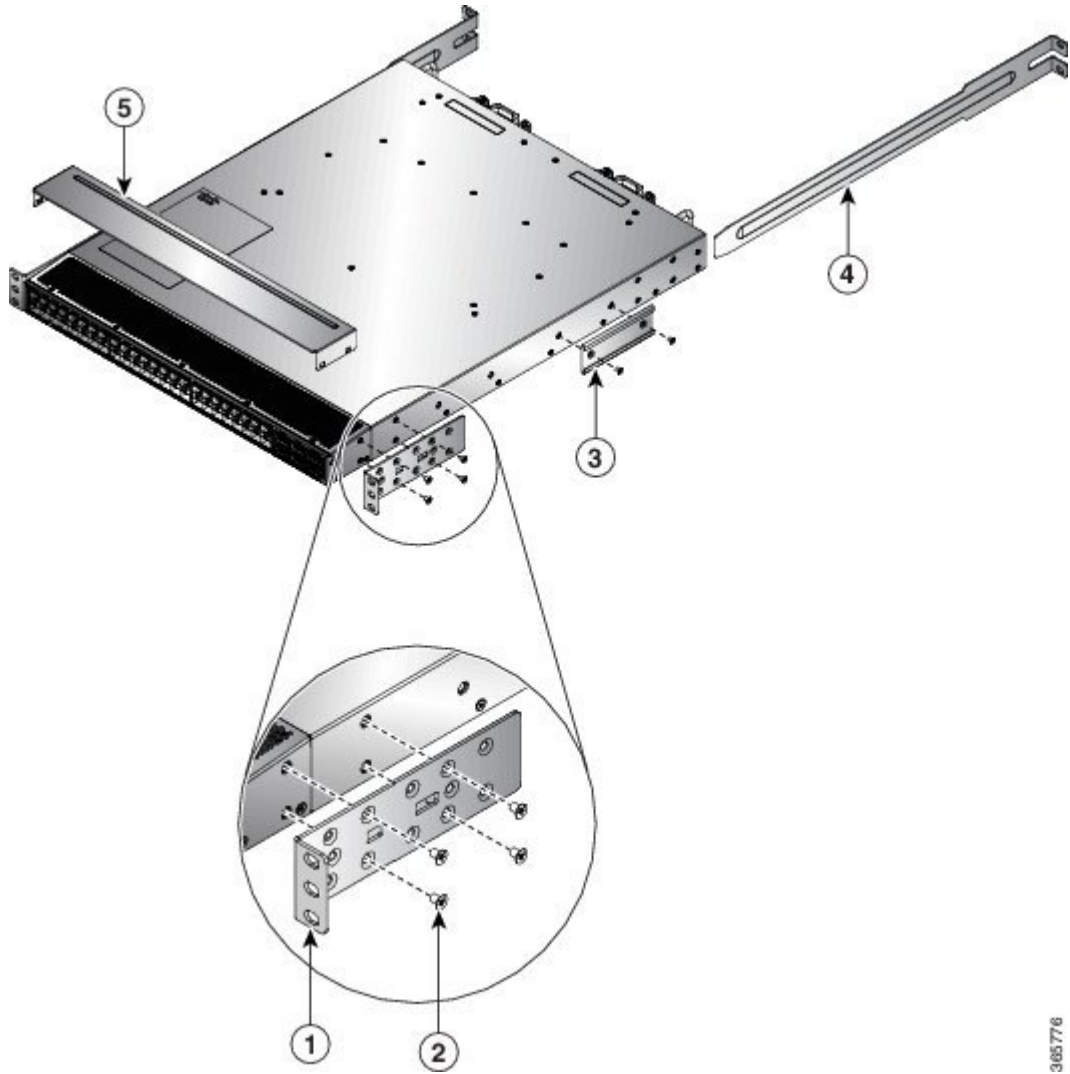
- b) シャーシの側面にラックマウントブラケットを当て、4個のネジ穴をシャーシ側面の4個のネジ穴に合わせてから、4本のM4さらネジを使用してブラケットをシャーシに取り付けます。

(注) Cisco NCS 55A1-36H-S、Cisco NCS 55A1-36H-SE-S、NCS 5502、NCS 5502 SE：アースカバーラベルを取り除き、アースカバープレートをシャーシの接地穴に合わせてラックマウントブラケットを取り付けます。

(注) ラックマウントブラケットのネジ穴4個は、シャーシ前面のネジ穴4個に揃えることも、シャーシ背面のネジ穴4個に揃えることもできます。使用する穴は、シャーシのどちらの側面をコールドアイル側にするかによって異なります。

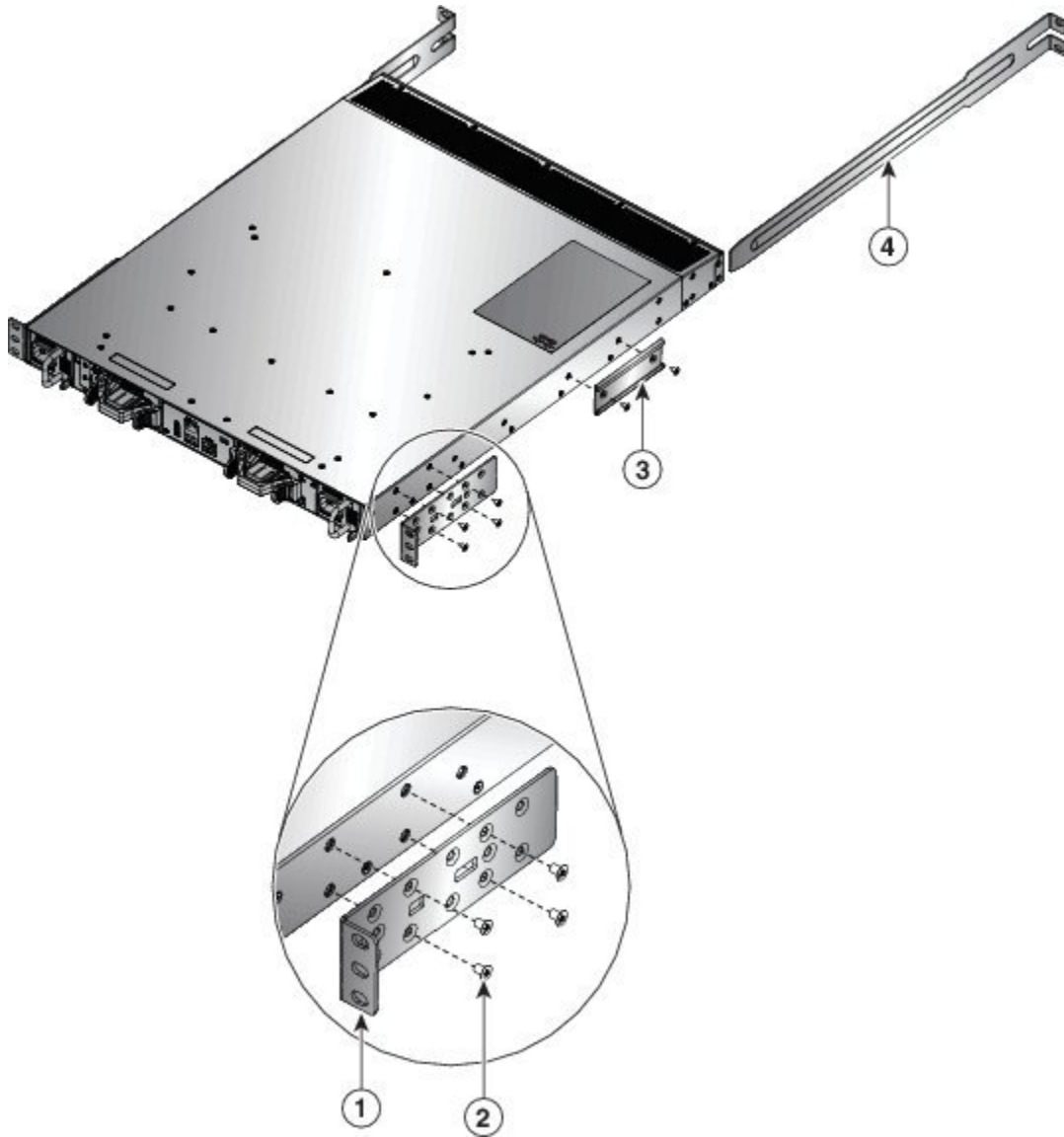
(注) 次の図に、Cisco NCS 5501 のラックマウントブラケットを示します。ブラケットの取り付けは、Cisco NCS 5501-SE、Cisco NCS-55A1-48Q6H、Cisco NCS-55A1-24Q6H-S、Cisco NCS-55A1-24Q6H-SS、および Cisco NCS 55A1-24H の場合も同じです。ただし、Cisco NCS-55A1-48Q6H および Cisco NCS-55A1-24Q6H-S /Cisco NCS-55A1-24Q6H-SS には別個の上部プレートがありません。上部プレートはシステムに組み込まれています。

図 1: Cisco NCS 5501 のラックマウント ブラケット：ポート側吸気



365776

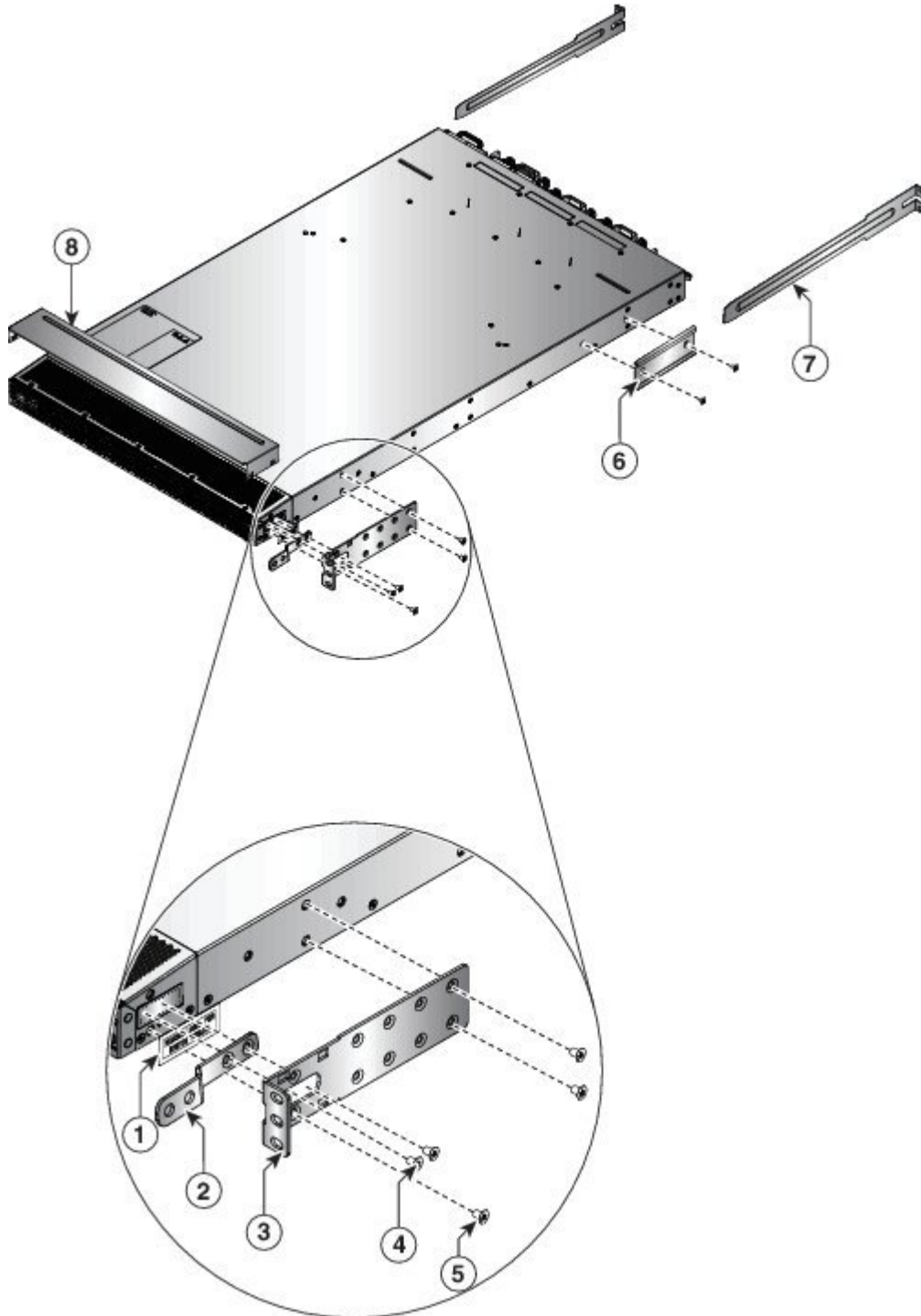
図 2: Cisco NCS 5501 のラックマウント ブラケット：ポート側排気



365777

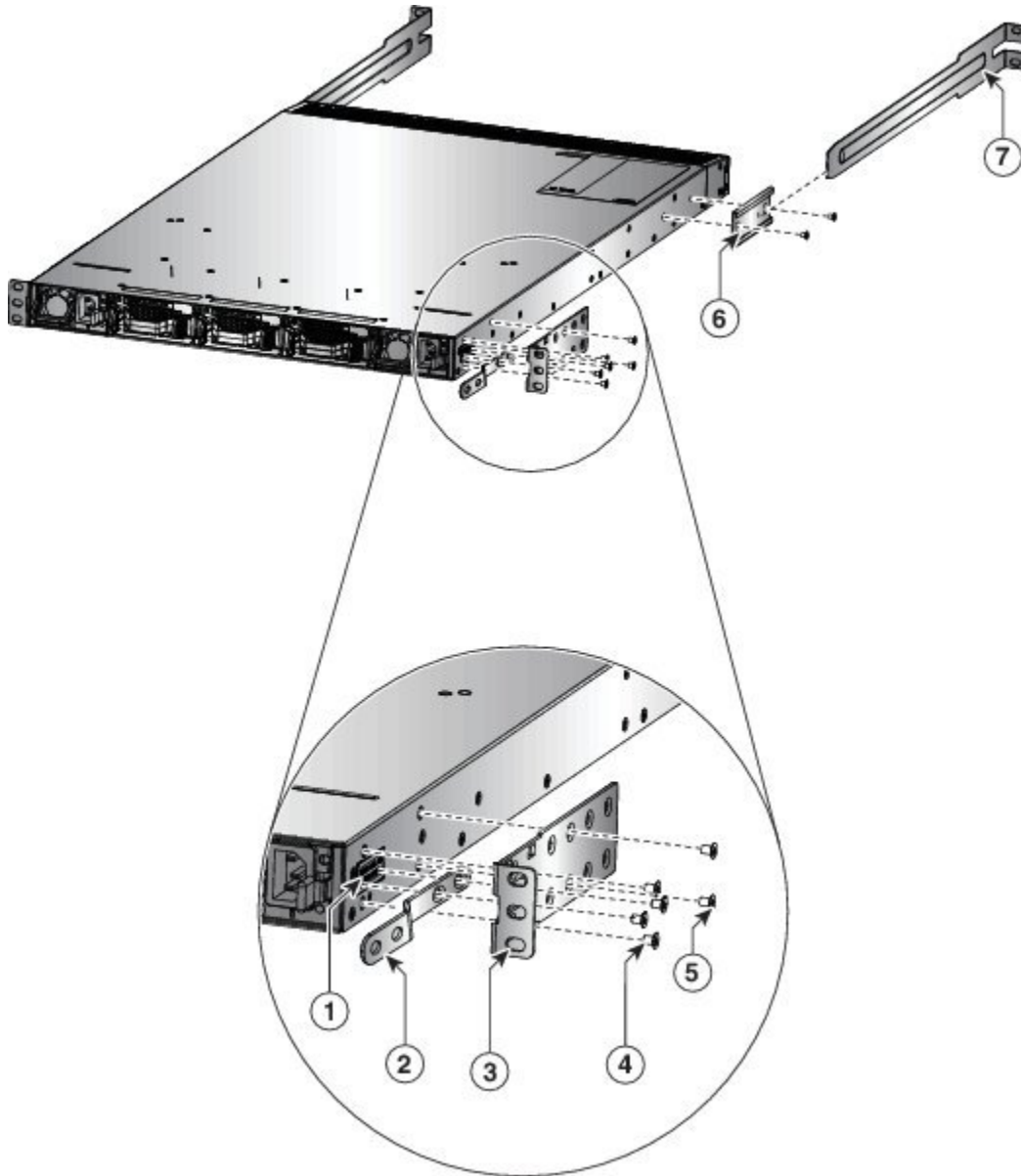
1	ラックマウント ブラケット	4	ラックマウント スライダ レール
2	M4 X 6 mm プラス皿ネジ	5	上部プレート
3	ラックマウント ガイド		

図 3 : Cisco NCS 55A1-36H-S および Cisco NCS 55A1-36H-SE-S のラックマウント ブラケット：ポート側吸気



368729

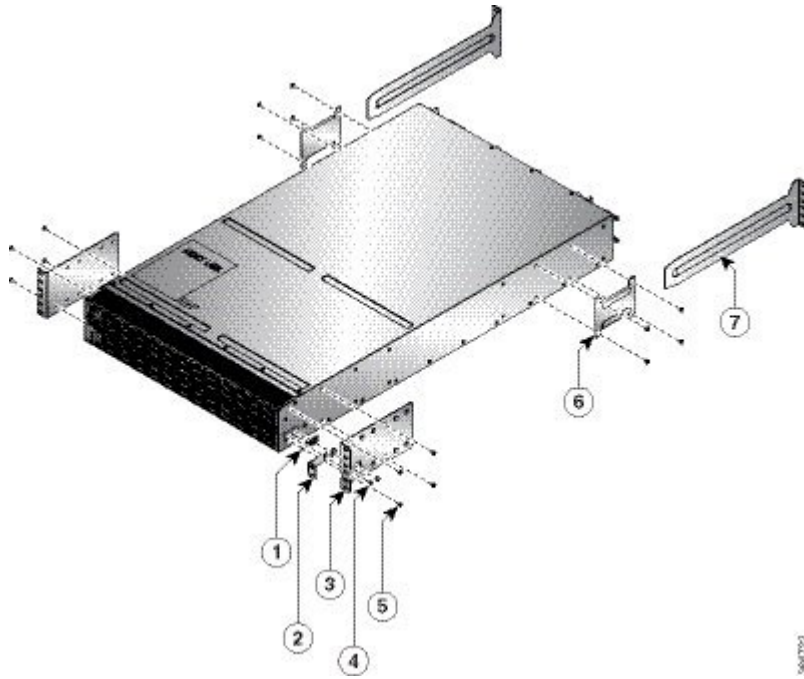
図 4: Cisco NCS 55A1-36H-S および Cisco NCS 55A1-36H-SE-S のラックマウント ブラケット：ポート側排気



368728

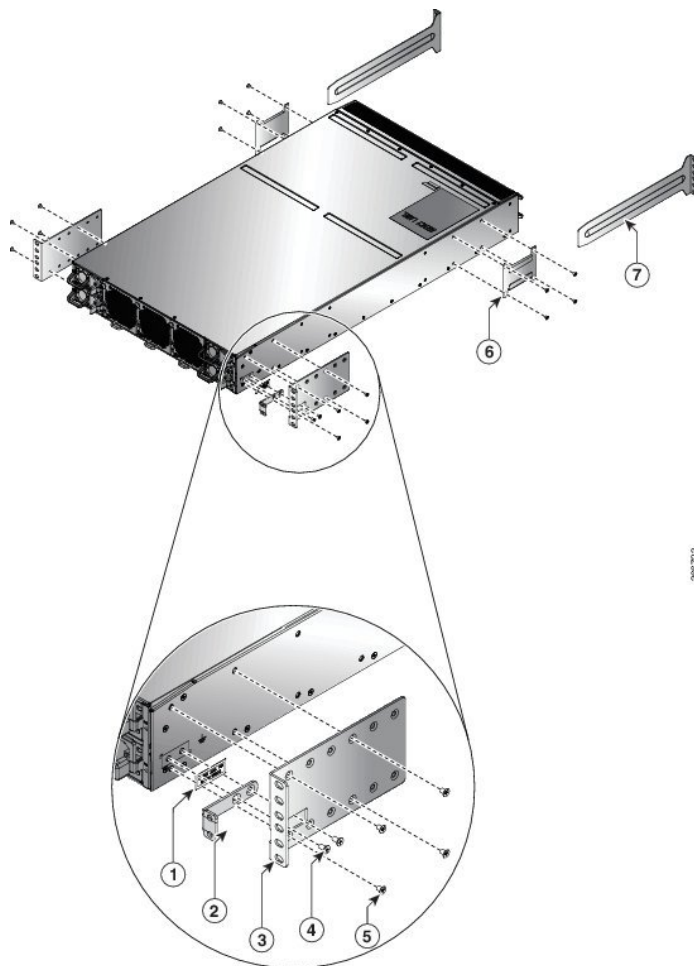
1	アース カバー ラベル	5	M4 X 6 mm プラス皿ネジ
2	アース カバー プレート	6	ラックマウント ガイド
3	ラックマウント ブラケット	7	ラックマウント スライダ レール
4	M4 X 6 mm プラス皿ネジ	8	上部プレート

図 5: Cisco NCS 5502 および NCS 5502 SE のラックマウント ブラケット：ポート側吸気



360722

図 6: Cisco NCS 5502 および NCS 5502 SE のラックマウント ブラケット：ポート側排気



1	アース カバー ラベル	5	M4 X 8 mm プラス皿ネジ
2	アース カバー プレート	6	ラックマウント ガイド
3	ラックマウント ブラケット	7	ラックマウント スライダ レール
4	M4 X 8 mm プラス皿ネジ		

c) ステップ 1b を繰り返して、ルータの反対側にもう一方のラックマウントブラケットを取り付けます。

ステップ 2 Cisco NCS-55A1-24H、Cisco NCS 55A1-36H-S、Cisco NCS 55A1-36H-SE-S、NCS 5501、および NCS 5501-SE：ルータのポートがコールドアイル（ポート側吸気口）側に取り付けられている場合は、NEBS に準拠するために上部プレートが必要です。プレートの端をラックマウントブラケットに押し込んで、上部プレートを取り付けます。

- 複数のルータを、ルータ間にスペースを設けて設置する場合は、各ルータに上部プレートを取り付けます。
- 複数のルータをスタック構成で取り付ける場合は、上部のルータにのみ上部プレートを取り付けます。

(注) 上部プレートは注文可能な NEBS キットの一部分です。

ステップ 3 次の手順で、シャーシに 2 つのラックマウント ガイドを取り付けます。

- a) シャーシの側面にラックマウント ガイドを当て、2 個のネジ穴をシャーシ側面の 2 個の穴に合わせてから、2 本の M4 ネジを使用してガイドをシャーシに取り付けます。
- b) 同様に、ルータの反対側にもラックマウント ガイドを取り付けます。

ステップ 4 スライダ レールを次のようにラックに取り付けます。

- a) スライダ レールをラック後方の目的のレベルに合わせ、ラックのねじ山タイプに応じて、2 本の 12-24 ネジまたは 2 本の 10-32 ネジを使用して、ラックにレールを取り付けます。

(注) 角穴のラックの場合は、12-24 ネジを使用する前に、スライダレールの各取り付け穴の後ろに 12-24 ケージナットを配置する必要がある場合があります。

- b) 同様に、ラックの反対側にもスライダ レールを取り付けます。
- c) メジャーおよび水準器を使用して、レールが同じ高さで水平になっているか確認します。

ステップ 5 次の手順に従って、ルータをラックに差し込んで取り付けます。

- a) 両手でルータを持ち、ラック前面の支柱の間に後ろ向きでルータを入れます。
- b) ラックに取り付けたスライダ レールにルータの両側の 2 つのラックマウント ガイドを合わせます。ラックマウント ガイドをスライダ レールに滑り込ませ、ルータをラックの奥までゆっくりスライドさせます。

(注) ルータをスムーズにスライドできないときは、ラックマウント ガイドとスライダレールの位置を合わせ直します。

- c) シャーシを水平に保持し、2 本のネジ（ラックのタイプに応じて 12-24 または 10-32）を各ラックマウントブラケットの穴に差し込み、ラック取り付けレールのケージナットまたはネジ穴にネジを通します。
- d) 10-32 ネジは 20 インチポンド (2.26 N·m) で締め、12-24 ネジは 30 インチポンド (3.39 N·m) で締めます。

4 支柱ラックへのシャーシのラックマウント：手順 2

ここでは、スライダを使用して 4 支柱ラックに Cisco NCS-55A2-MOD-HD-S、Cisco NCS-55A2-MOD-HX-S、および Cisco NC55A2-MOD-SE-H-S シャーシを取り付ける方法について説明します。

スライダ

スライダを使用して、4 支柱屋外ラックに Cisco NCS-55A2-MOD-HX-S および Cisco NC55A2-MOD-SE-H-S シャーシを取り付けます。メンテナンス時には、スライダを使用してシャーシのファントレイに簡単にアクセスできます。

スライダは、シャーシの取り付けでエアフィルタ (NCS-55A2-FLTR-FW) にも対応できるように設計されています。次の 2 種類のスライダがあります。

- NC55-2RU-ACC-SL1：幅 476 mm（最小 650 x 650 mm）の特注のキャビネット、または同等の仕様のキャビネット用に設計されています。

NC55-2RU-ACC-SL1 を取り付けるためのラックの要件：

- 4 支柱ラック
 - 476 cm 幅の中央から中央レールへの取り付け。
 - 前方取り付けレール間の幅が少なくとも 45.0 cm（17.75 インチ）であること。
 - 光ファイバケーブルの最小曲げ半径を確保するために、キャビネットの前方取り付けレールから前面扉までに 12.0 cm（4.7 インチ）以上のスペースがあること。
 - キャビネットの前方取り付けレールと前面扉の内側面間の最小スペースが 14.7 cm（5.8 インチ）であること。この間隔は、キャビネットの周囲温度の設定点に応じて変化する可能性があります。
 - 背面ブラケットを取り付けられるように、前方取り付けレールの外面と後方取り付けレールの外面の距離が 40.7 ~ 50.5 cm（16.0 ~ 19.9 インチ）であること。
- NC55-2RU-ACC-SL2：19 インチ（最小 650 x 650 mm）EIA キャビネット標準 4 支柱ラック用に設計されています。

NC55-2RU-ACC-SL2 を取り付けるためのラックの要件：

- 標準 48.3 cm（19 インチ）（ANSI/EIA-310-D-1992 のセクション 1 に基づく英国ユニバーサルピッチの規格に準拠しているマウントレール付き 4 支柱 EIA キャビネット）。
- 前方取り付けレール間の幅が少なくとも 45.0 cm（17.75 インチ）であること。
- キャビネットの前方取り付けレールと前面扉の内側面間の最小スペースが 14.7 cm（5.8 インチ）であること。この最小間隔は、キャビネットの周囲温度の設定点に応じて変化する可能性があります。
- 光ファイバケーブルの最小曲げ半径を確保するために、キャビネットの前方取り付けレールから前面扉までに 12.0 cm（4.7 インチ）以上のスペースがあること。
- 背面ブラケットを取り付けられるように、前方取り付けレールの外面と後方取り付けレールの外面の距離が 41.9 ~ 48.26 cm（16.5 ~ 19 インチ）であること。

スライダアセンブリは次の 3 つの部品で構成されています。

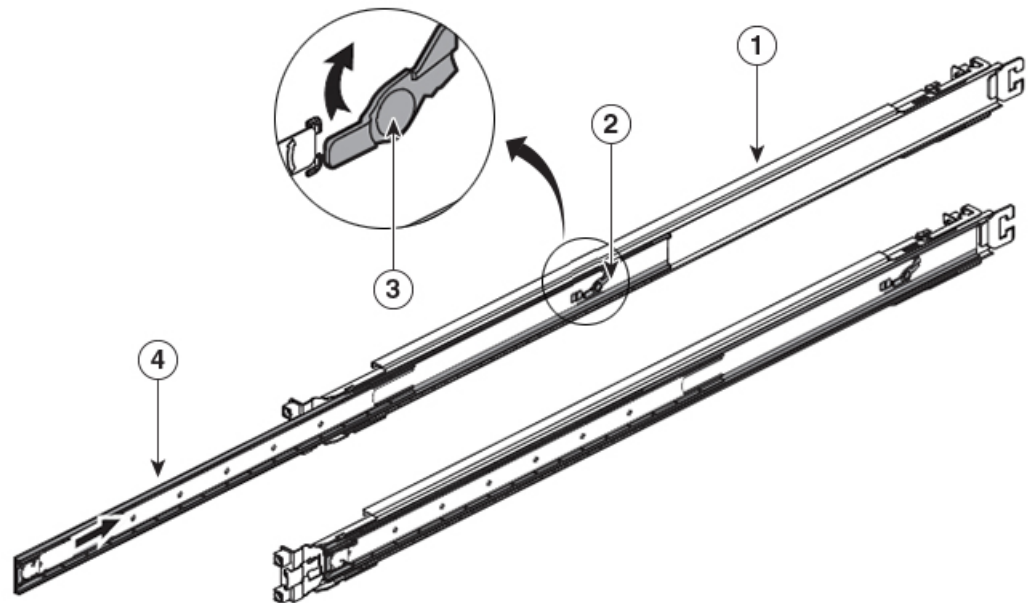
- 内側スライダメンバ
- 中央スライダメンバ
- 外側スライダメンバ



- (注) 外側スライダメンバのフロントエンドは、**NC55-2RU-ACC-SL1** と **NC55-2RU-ACC-SL2** で異なる場合があります。

NC55-2RU-ACC-SL2の外側スライダメンバは、2本のネジで前面支柱に取り付けます。一方、NC55-2RU-ACC-SL1の外側スライダメンバは、前面支柱のラック穴を通してラッチでラックに固定します。

図 7: スライダアセンブリ



355997

1	外側スライダメンバ	2	中央スライダメンバ
3	中央スライダメンバのロック解除機能	4	内側スライダメンバ

次の表に、Cisco NCS-55A2-MOD-HD-S、Cisco NCS-55A2-MOD-HX-S、および Cisco NC55A2-MOD-SE-H-S ルータのラックマウントキットに含まれている品目を示します。

表 4: Cisco NCS-55A2-MOD-HD-S、Cisco NCS-55A2-MOD-HX-S、および Cisco NC55A2-MOD-SE-H-S ルータのラックマウントキット

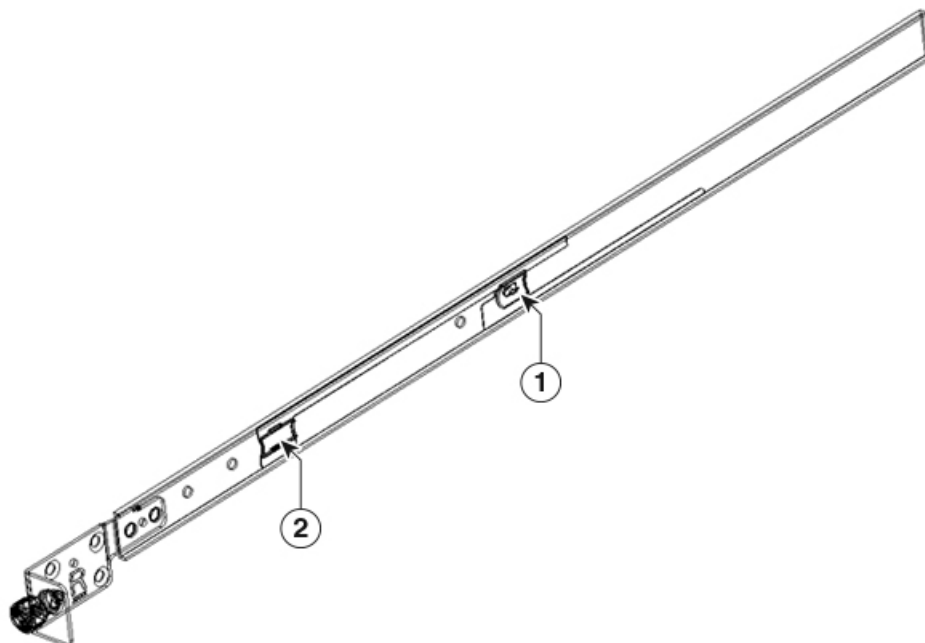
数量	部品
2	ラックマウントブラケット
2	ラックマウントスライダレール
8	M4 x 8 mm プラスさらネジ

4支柱ラックへのシャーシのラックマウント：手順2

数量	部品
2	M4 x 8 mm なべネジ
1	アースラグ
6	(NC55-2RU-ACC-SL1 のみ) M4 x 10 mm プラスなべネジ
6	(NC55-2RU-ACC-SL2 のみ) M4 x 8 mm プラス皿ネジ
4	(NC55-2RU-ACC-SL2 のみ) ワッシャ
4	(NC55-2RU-ACC-SL2 のみ) 10-32 さらネジ
4	(NC55-2RU-ACC-SL2 のみ) 9.1 mm ラックマウントピン
4	(NC55-2RU-ACC-SL2 のみ) 8.8 mm ラックマウントピン

ステップ1 スライダアセンブリの前面にある白色のタブ（外側スライダメンバ）を押し下げて、スライダアセンブリから内側スライダメンバを取り外します。

図8: スライダアセンブリからの内側スライダメンバの取り外し



355996

1	白色のタブ	2	青色のタブ
---	-------	---	-------

ステップ 2 中央スライダメンバのロック解除機能を押し、中央スライダメンバをスライドさせてスライダアセンブリに戻します。

ステップ 3 シャーシの側面に内側スライダメンバを取り付けます。

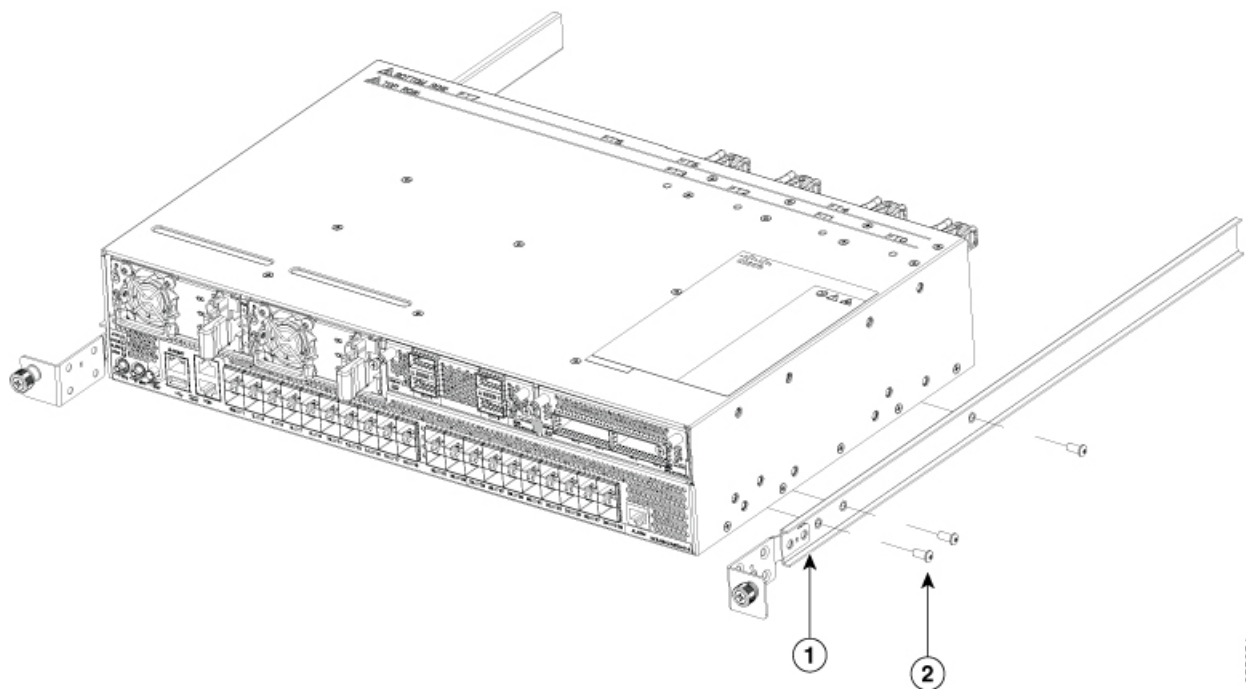
1. 内側スライダメンバをシャーシの一方の側の位置に合わせ、3本の M4 ネジを使用して、12 インチポンド (1.4 N-m) までネジを締めます。

(注) NC55-2RU-ACC-SL1 の場合は、M4 x 10 mm なべネジを使用します。

NC55-2RU-ACC-SL2 の場合は、M4 x 8 mm 皿ネジを使用します。

2. 3a を繰り返して、内側スライダメンバをシャーシの反対側に取り付けます。

図 9: シャーシへの内側スライダメンバの取り付け



1	内側スライダメンバ	2	M4 x 10 mm プラスなべネジまたは M4 x 8 mm ネジ (スライダによる)。
---	-----------	---	---

ステップ 4 外側スライダメンバをラックに取り付けます。

1. 外側スライダのラックマウントピンを背面ポストのラック穴に合わせます。

(注) 外側スライダメンバのラックマウントピンがラックの穴の寸法に収まらない場合は、パッケージに付属のピンを使用します。

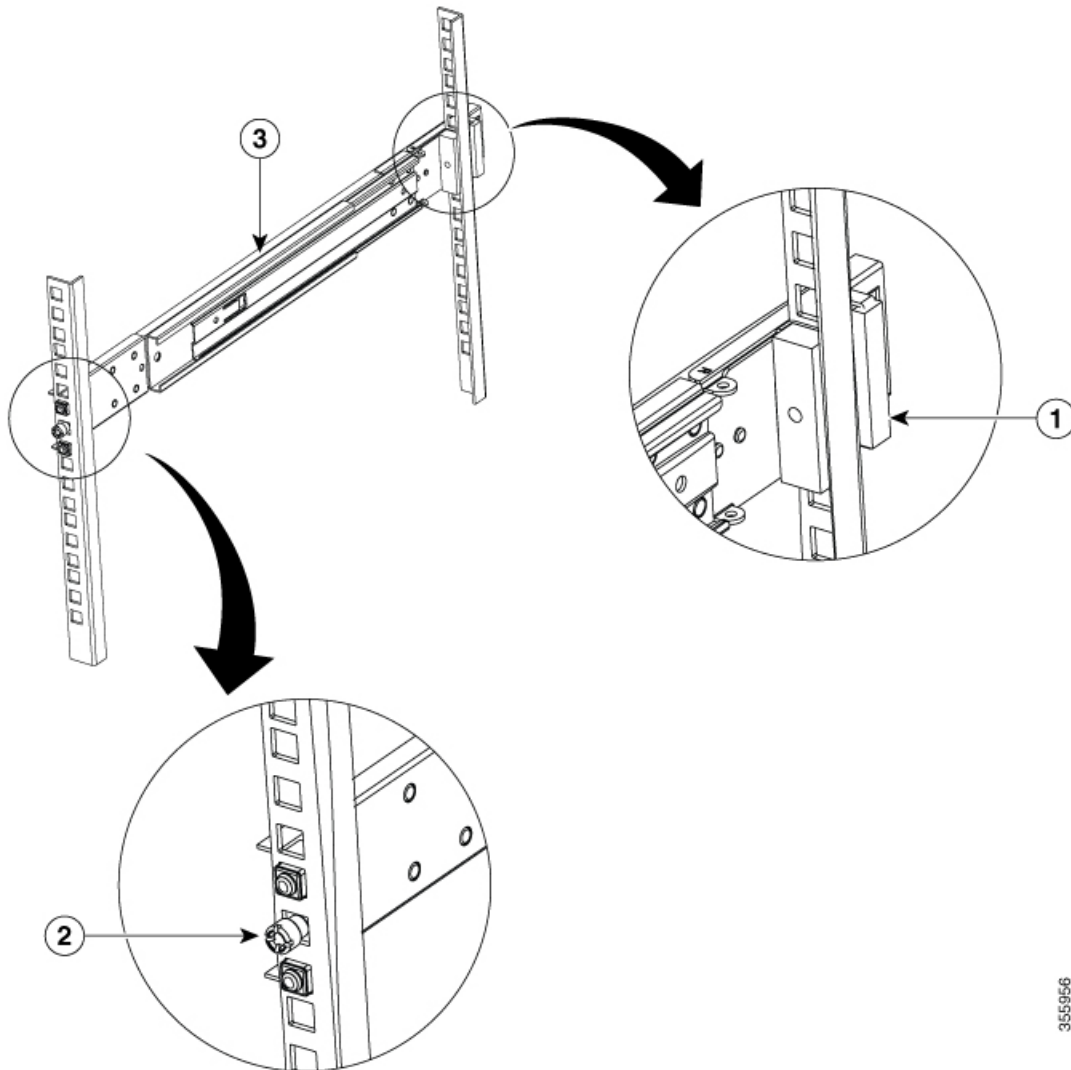
2. (NC55-2RU-ACC-SL1) 外側スライダメンバのフロントエンドでは、ラックとラッチのネジ穴をラックに通します。「外側スライダメンバのリアエンドおよびフロントエンド (NC55-2RU-ACC-SL1)」の図を参照してください。

4支柱ラックへのシャーシのラックマウント：手順2

(NC55-2RU-ACC-SL2) スライダを調整し（押し込む、引っ張る）、スライダを前面支柱の背後に固定します。2本のさらネジ（10-32）とワッシャを使用して、スライダを前面支柱に取り付けます。「外側スライダメンバのリアエンドおよびフロントエンド（NC55-2RU-ACC-SL2）」の図を参照してください。

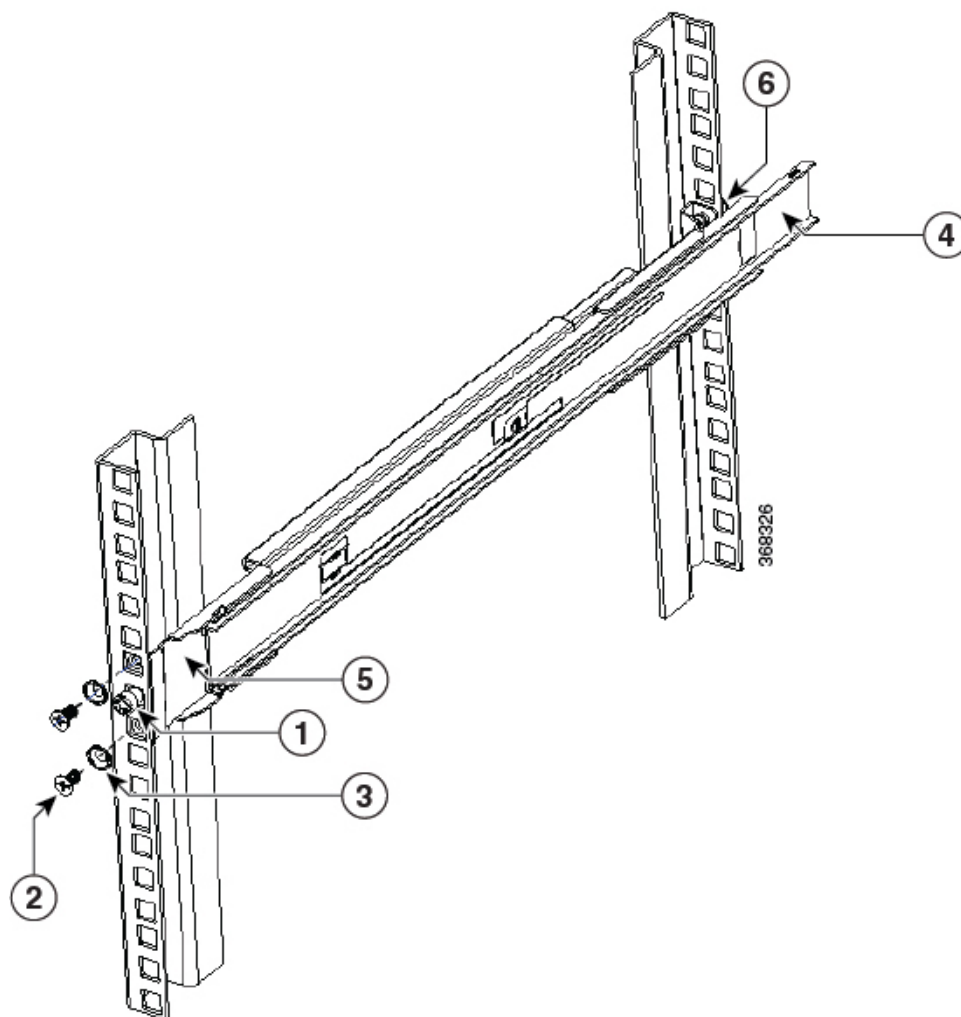
(注) ラックの穴からスライダを通すことができない場合は、外側スライダメンバのフロントエンドにあるネジアダプタを取り外します。スライダをラックの穴に通した後、ネジを締めます。

図 10：外側スライダメンバのリアエンドおよびフロントエンド（NC55-2RU-ACC-SL1）



1	リアエンド：外側スライダメンバ	2	フロントエンド：外側スライダメンバにあるブタ
3	外側スライダメンバ		

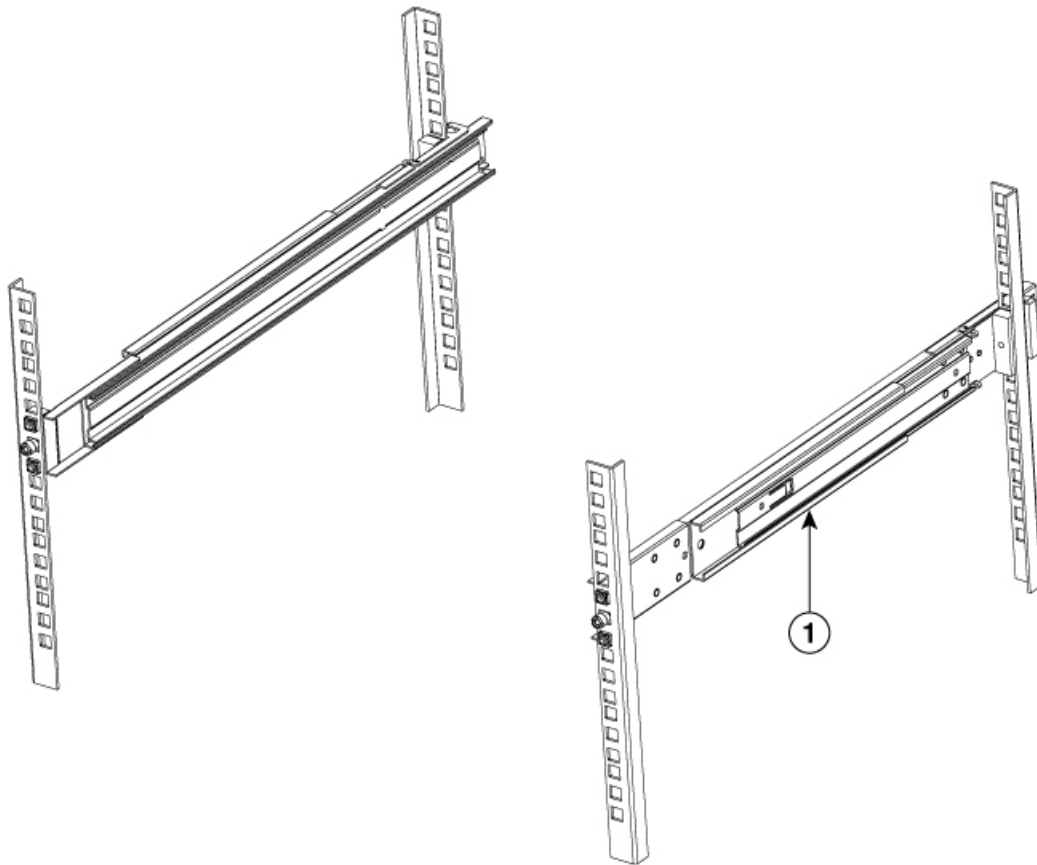
図 11: 外側スライダメンバのリアエンドおよびフロントエンド (NC55-2RU-ACC-SL2)



1	フロントエンド：外側スライダメンバにあるネジアダプタ	2	さらネジ
3	ワッシャ	4	リアエンド：外側スライダメンバ
5	フロントエンド：外側スライダメンバ	6	リアエンド：ラックマウントピン

3. 4a～4bを繰り返して、外側スライダメンバをシャーシの反対側に取り付けます。

図 12: ラックへの外側スライダメンバの取り付け

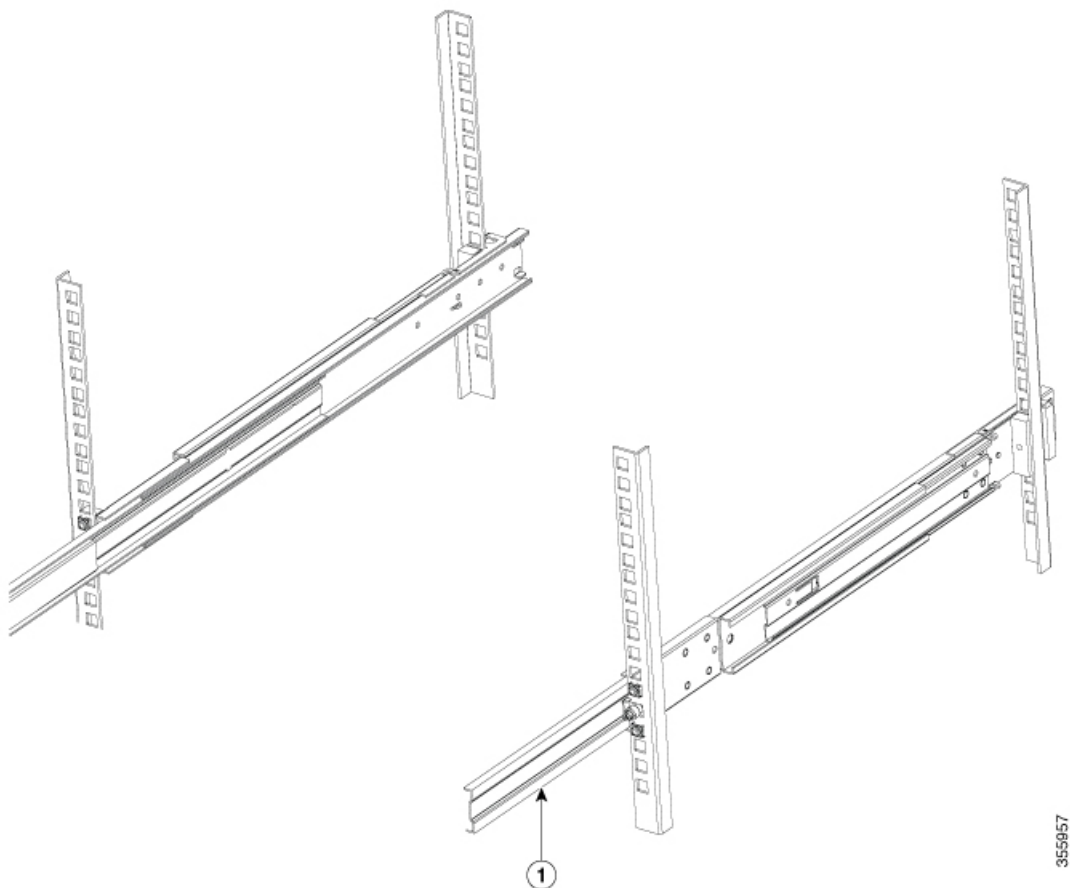


355955

1	外側スライダメンバ		
---	-----------	--	--

ステップ5 中央スライダメンバをスライダアセンブリから引き伸ばし位置まで引き出します。

図 13: 中央スライダメンバの引き伸ばし

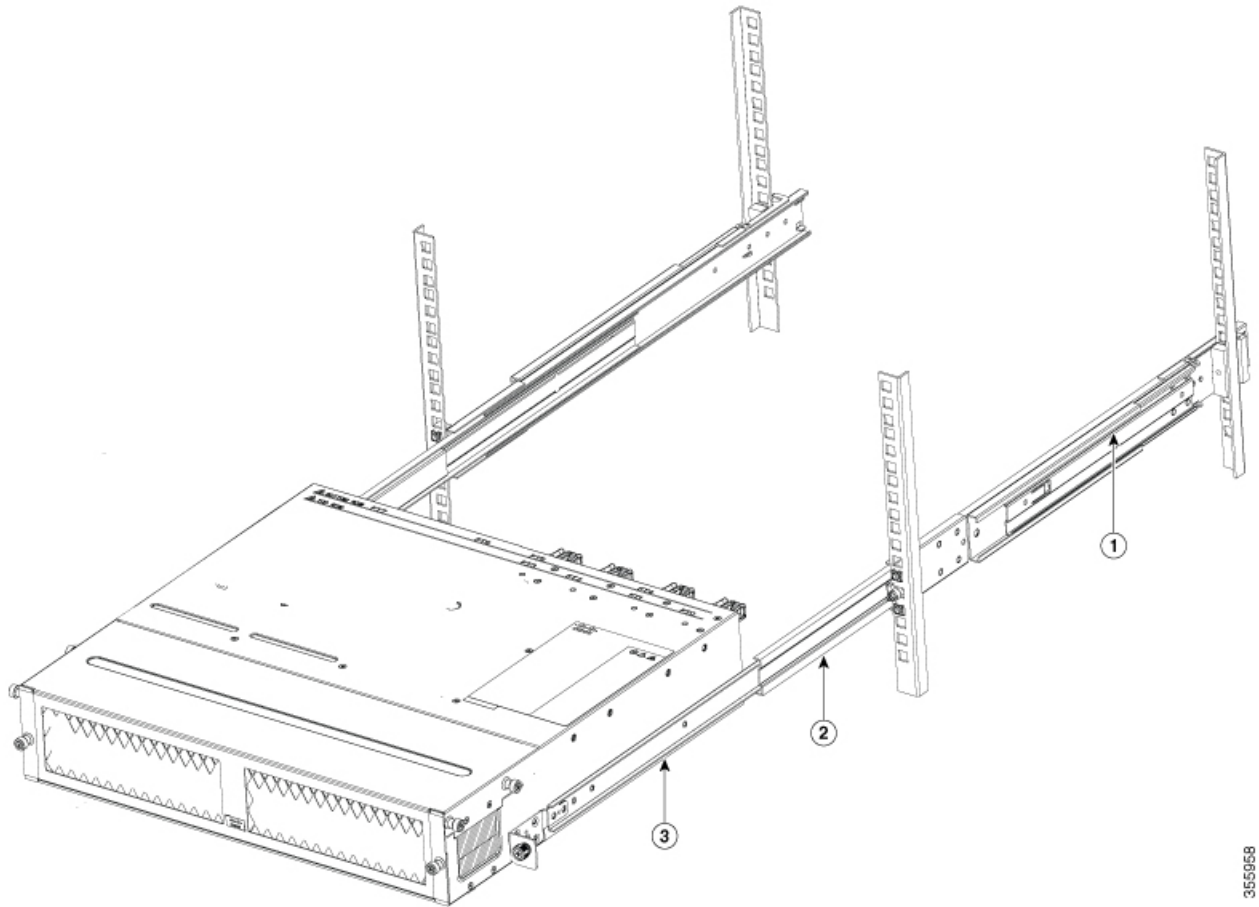


1	中央スライダメンバ		
---	-----------	--	--

ステップ6 すでに内側スライダメンバが取り付けられているシャーシを、ラックの中央スライダメンバに挿入します。

ステップ7 シャーシを中央スライダメンバにスライドさせて、さらに押し込みます。

図 14: ラックへのシャーシの取り付け

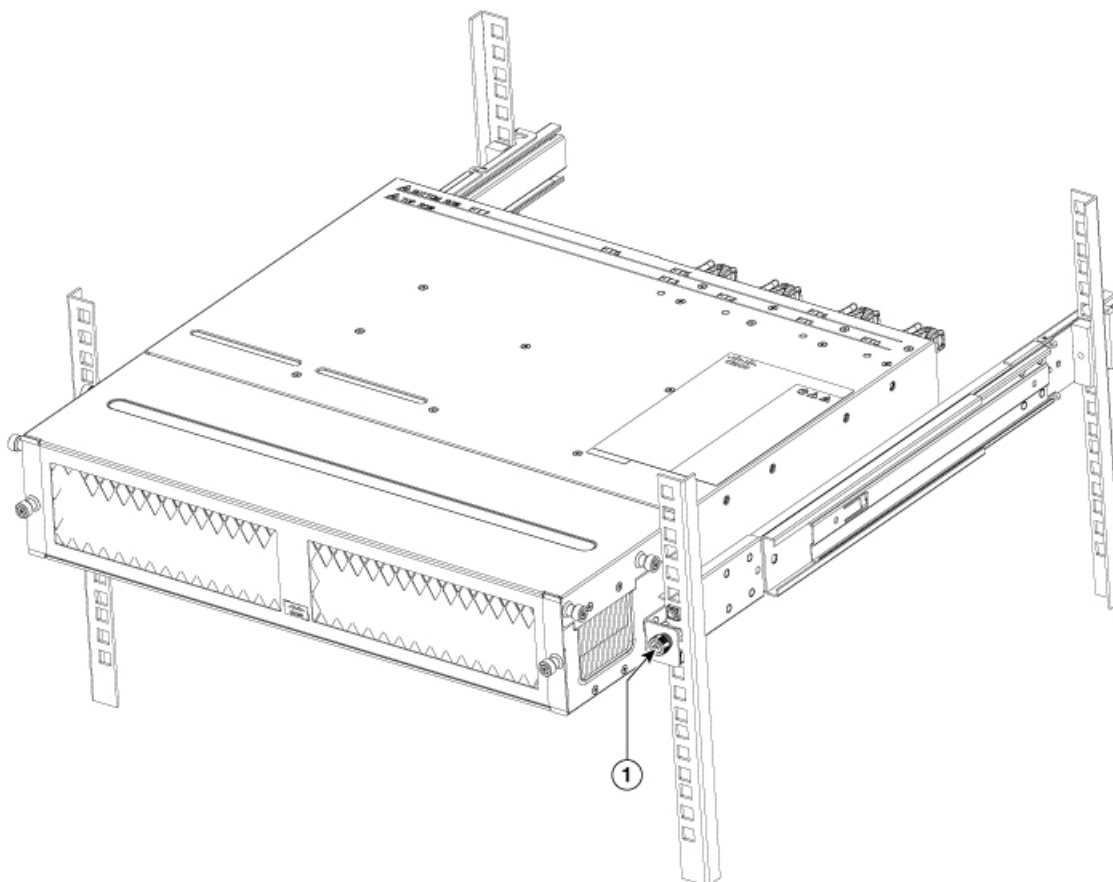


355958

1	外側スライダメンバ	2	中央スライダメンバ
3	内側スライダメンバ		

ステップ 8 両側の内側スライダメンバ上の青色のリリースタブを同時に引いて、ロック位置を解除します。続けて、シャーシをラックに押し込みます。

図 15: ラックへのシャーシの取り付け



355959

ステップ9 シャーシ両側の取り付けネジを締めます。ネジは、ラックの穴を通して外側スライダメンバのネジアダプタの位置に合っています。

次のタスク

[4支柱ラックのシャーシへのエアフィルタの取り付け \(27 ページ\)](#)

2支柱ラックへのシャーシのラックマウント：手順1

ここでは、ルータに付属しているラックマウントキットを使用して、キャビネットまたは2支柱ラックに次のルータを取り付ける方法について説明します。

- Cisco NCS-55A1-24H
- Cisco NCS 5501
- Cisco NCS 5501-SE

- Cisco NCS-55A1-24Q6H-S
- Cisco NCS-55A1-24Q6H-SS



注意 ラックにキャストが付いている場合、ブレーキがかかっているか、または別の方法でラックが固定されていることを確認してください。

次の表に、ルータに付属のラックマウントキットの内容を記載します。

表 5: Cisco NCS-55A1-24H、Cisco NCS 5501、Cisco NCS 5501-SE、および Cisco NCS-55A1-24Q6H-S ルータのラックマウントキット

数量	部品
2	ラックマウントブラケット
8	M4 X 0.7 X 6 mm フラットヘッドネジ

ステップ 1 次の手順で、2つのラックマウントブラケットをルータに取り付けます。

- 次のように、シャーシのどちらの端をコールドアイルに配置するかを決めます。
 - ルータにポート側吸気モジュール（赤紫色のカラーリングのファンモジュール）がある場合は、ポートがコールドアイル側になるようにルータを配置します。
 - ルータにポート側排気モジュール（青色のカラーリングのファンモジュール）がある場合は、ファンと電源モジュールがコールドアイル側になるようにルータを配置します。
- 次の手順を実行します。

Cisco NCS-55A1-24H、Cisco NCS 5501、Cisco NCS 5501-SE、Cisco NCS-55A1-24Q6H-S、および Cisco NCS-55A1-24Q6H-SS ルータ：ブラケットの耳をシャーシの中央に向けた状態で、4個のネジ穴がシャーシ側面の4個のネジ穴に揃うように、シャーシの側面に前面ラックマウントブラケットを当てます。
- 4本の12インチポンド（1.4 N-m）M4ネジを使用して、ブラケットをシャーシに取り付けます。
- ステップ 1b と 1c を繰り返して、ルータの反対側にもう一方のラックマウントブラケットを取り付けます。次の図に、Cisco NCS 5501 のラックマウントブラケットを示します。ブラケットの取り付けは、NCS 5501-SE および Cisco NCS 55A1-24H の場合も手順は同じです。

図 16: Cisco NCS 5501 のラックマウント ブラケット

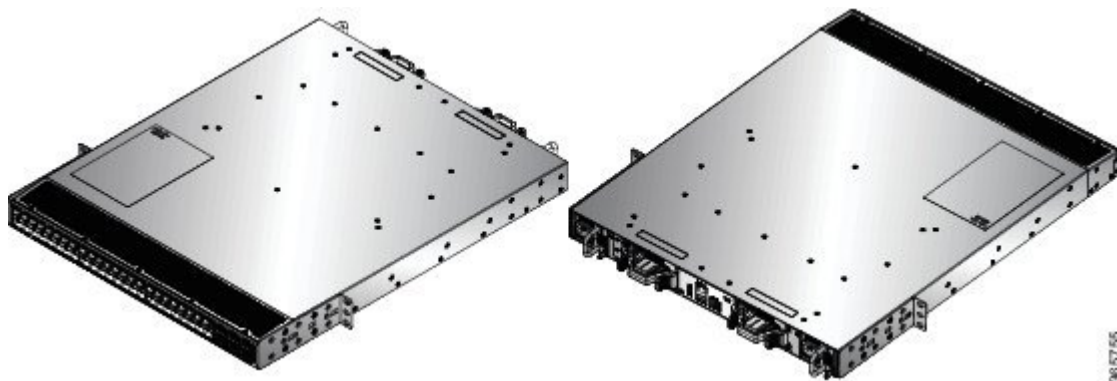
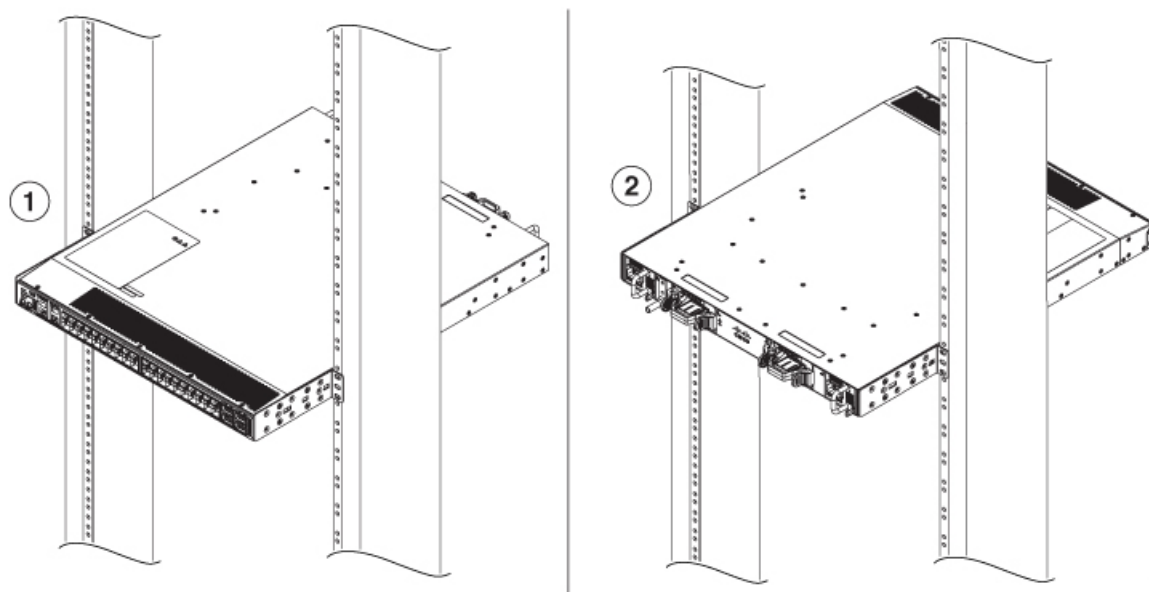


図 17: Cisco NCS 5501 のラックマウント ブラケット



1	ポート側吸気取り付け	2	ポート側排気取り付け
---	------------	---	------------

ステップ 2 次の手順で、2 支柱ラックにルータを取り付けます。

- a) ルータを 2 本のラック支柱の間に持ち上げます。この作業は 2 人で行います。
- b) ラックマウントブラケットが 2 本のラック支柱に接触するまで、ルータを移動します。
- c) 1 人がシャーシを水平に持っている間、もう 1 人が 2 本のネジ（ラックのタイプに応じて 12-24 または 10-32）を 2 つのラックマウントブラケット（合計 4 本のネジを使用）に差し込んで、垂直ラックの取り付けレールのケージナットまたはネジ穴にネジを通します。
- d) 10-32 ネジは 20 インチポンド（2.26 N・m）で締め、12-24 ネジは 30 インチポンド（3.39 N・m）で締めます。

2 支柱ラックへのシャーシのラックマウント：手順 2

ここでは、シャーシに付属しているラックマウントキットを使用して、キャビネットまたは 2 支柱ラックに次のシャーシを取り付ける方法について説明します。

- Cisco NCS-55A2-MOD-S
- Cisco NCS-55A2-MOD-HD-S
- Cisco NCS-55A2-MOD-SE-S
- Cisco NCS-55A2-MOD-HX-S
- Cisco NC55A2-MOD-SE-H-S



注意 ラックにキャストが付いている場合、ブレーキがかかっているか、または別の方法でラックが固定されていることを確認してください。

次の表に、ルータに付属のラックマウントキットの内容を記載します。

表 6: Cisco NCS 55A2-MOD-SE-S、Cisco NCS-55A2-MOD-HX-S、Cisco NC55A2-MOD-SE-H-S ルータのラックマウントキット

数量	部品
2	ラックマウントブラケット
8	M4 x 8 mm プラスさらネジ

ラックのタイプに応じて、次のラックマウントブラケットを使用できます。

- 19 インチラック：NC55A2-RCKMNT-19 ブラケット
- 23 インチラック：NC55A2-RCKMNT-23 ブラケット
- ETSI ラック：N55A2-RCKMNT-ETSI ブラケット



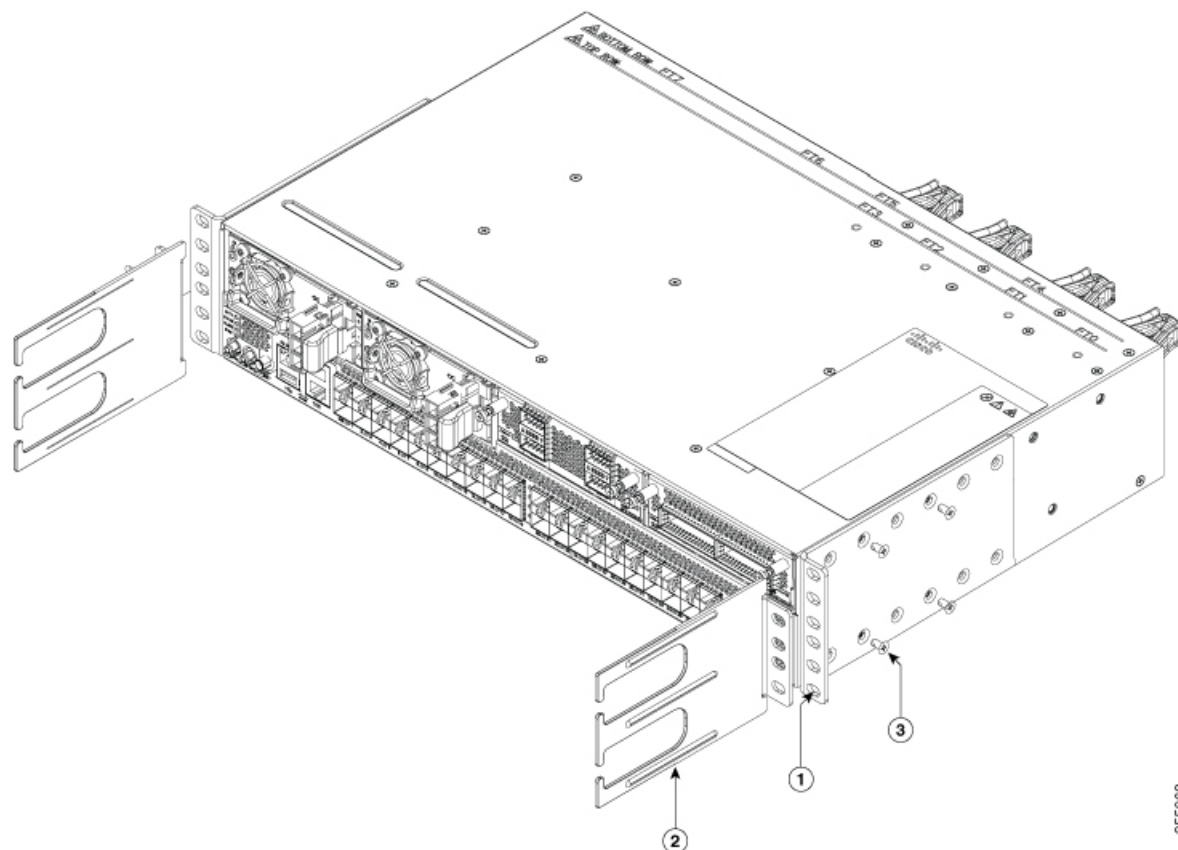
(注) また、ケーブルガイドブラケット (NCS-55A2-CAB-MGMT) を使用して、Cisco NCS 55A2-MOD-SE-S、Cisco NCS-55A2-MOD-HX-S、および Cisco NC55A2-MOD-SE-H-S のケーブルを管理します。ケーブルガイドブラケットはオプションであり、アクセサリキット (NC55-2RU-ACCX-KIT) に付属しています。

ステップ 1 次の手順で、2 つのラックマウント ブラケットをルータに取り付けます。

- ポートがコールドアイル側になるようにルータを配置します。
- ブラケットの耳をシャーシの前面に合わせた状態で、4 個のネジ穴がシャーシ側面の 4 個のネジ穴に揃うように、シャーシの側面にラックマウントブラケットを当てます。

- c) 4本の12インチポンド（1.4 N・m）M4ネジを使用して、ブラケットをシャーシに取り付けます。
- d) ステップ1bと1cを繰り返して、ルータの反対側にもう一方のラックマウントブラケットを取り付けます。

図18: Cisco NCS 55A2-MOD-S、Cisco NCS 55A2-MOD-HD-S、Cisco NCS 55A2-MOD-SE-S、Cisco NCS-55A2-MOD-HX-S、および Cisco NC55A2-MOD-SE-H-S上のラックマウントブラケット



1	ラックマウントブラケット	2	ケーブルガイド
3	M4 x 8 プラスさらネジ		

ステップ2 次の手順で、2支柱ラックにルータを取り付けます。

- a) ルータを2本のラック支柱の間に持ち上げます。この作業は2人で行います。
- b) ラックマウントブラケットが2本のラック支柱に接触するまで、ルータを移動します。
- c) 1人がシャーシを水平に持っている間、もう1人が2本のネジ（ラックのタイプに応じて12-24または10-32）を2つのラックマウントブラケット（合計4本のネジを使用）に差し込んで、垂直ラックの取り付けレールのケジナットまたはネジ穴にネジを通します。
- d) 10-32ネジは20インチポンド（2.26 N・m）で締め、12-24ネジは30インチポンド（3.39 N・m）で締めます。

次のタスク

[2支柱ラックのシャーシへのエアーフィルタの取り付け（ポート側吸気口）](#)（30 ページ）

エアーフィルタの取り付け



(注) エアーフィルタは、Cisco NCS-5502-SE と NCS-5502 で使用できます。エアーフィルタは1回だけ使用できます。



(注) 通常は、3ヵ月ごとにエアーフィルタを点検し、必要に応じて6ヵ月ごとに交換することをお勧めします。

ポート側の吸気口へのエアーフィルタの取り付け

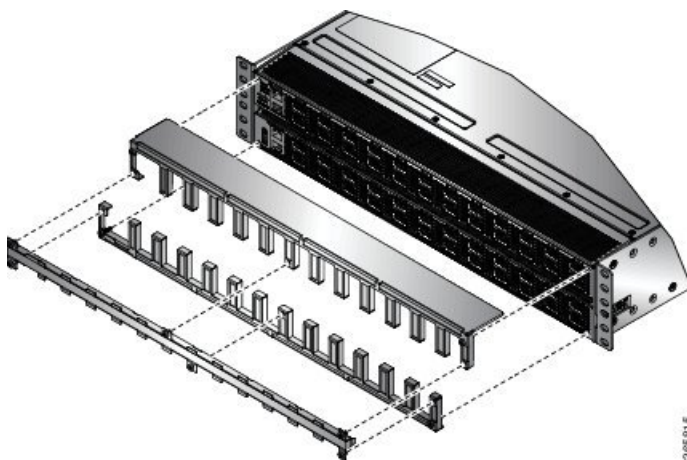
ポート側の吸気口のエアーフィルタの交換が必要な場合は、次の手順に従います。



(注) 上下のフィルタ（NCS-5502-FLTR-FW）を固定するには、手動ドライバを使用して、ゆっくりとネジを回転させます。ネジは3～4回だけ回転させ、締めすぎないようにしてください。

ステップ1 エアーフィルタの上側をシャーシの上部ポート側に置き、2つのネジで上部の左右に固定します。

図 19: ポート側吸気口のエアーフィルタ



ステップ2 エアーフィルタの下側をシャーシの下部ポート側に合わせて置き、2つのネジで下部の左右に固定します。

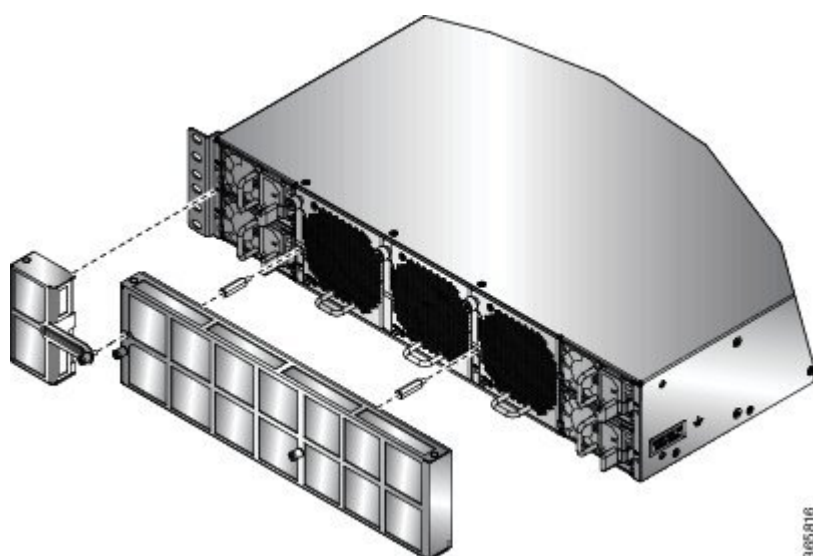
ステップ3 エアークフィルタを上下のエアークフィルタの間に挿入し、6つのネジ（それぞれ両側に2つ、中央に2つ）を締めます。

ポート側の排気口へのエアークフィルタの取り付け

ポート側の排気口のエアークフィルタの交換が必要な場合は、次の手順に従います。

ステップ1 シャーシに2つのスタンドオフを取り付けます。

図 20: ポート側排気口のエアークフィルタ



ステップ2 スタンドオフに合わせてメインエアークフィルタを取り付け、2つの取り付けネジを締めます。

ステップ3 サイドフィルタエクステンションを取り付け、2つのネジ（シャーシに1つ、メインエアークフィルタに1つ）を締めます。

4支柱ラックのシャーシへのエアークフィルタの取り付け

ここでは、Cisco NCS-55A2-MOD-HD-S、Cisco NCS-55A2-MOD-HX-S、および Cisco NC55A2-MOD-SE-H-S シャーシの4支柱ラックへのエアークフィルタの取り付けについて説明します。



(注) スライダはラックから少なくとも 50.8 mm (2 インチ) 離して延長できます。

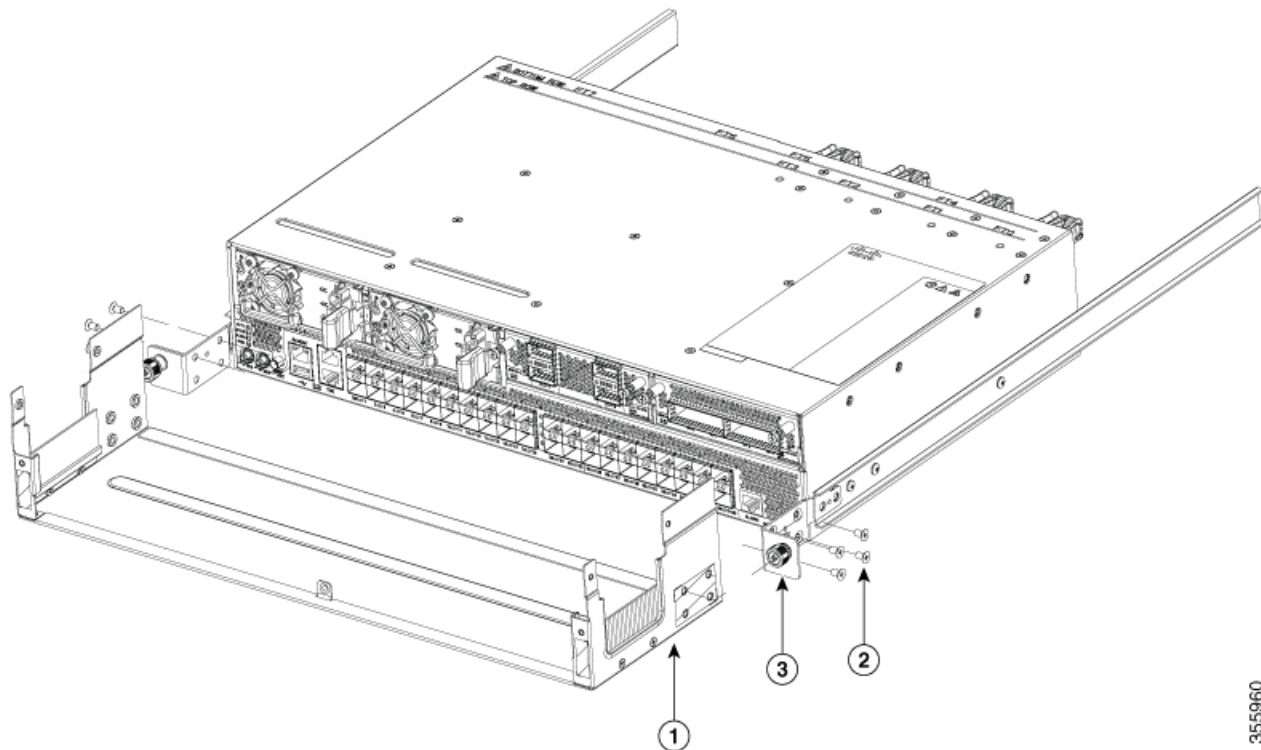
始める前に

「4支柱ラックへのシャーシのラックマウント：手順2（11ページ）」の手順を完了します。

ステップ1 内側スライダメンバへのエアフィルタボックスのトレイの取り付け

1. 次の図に示すように、エアフィルタボックスのトレイを内側スライダメンバに合わせます。

図 21: エアフィルタボックスのトレイの取り付け



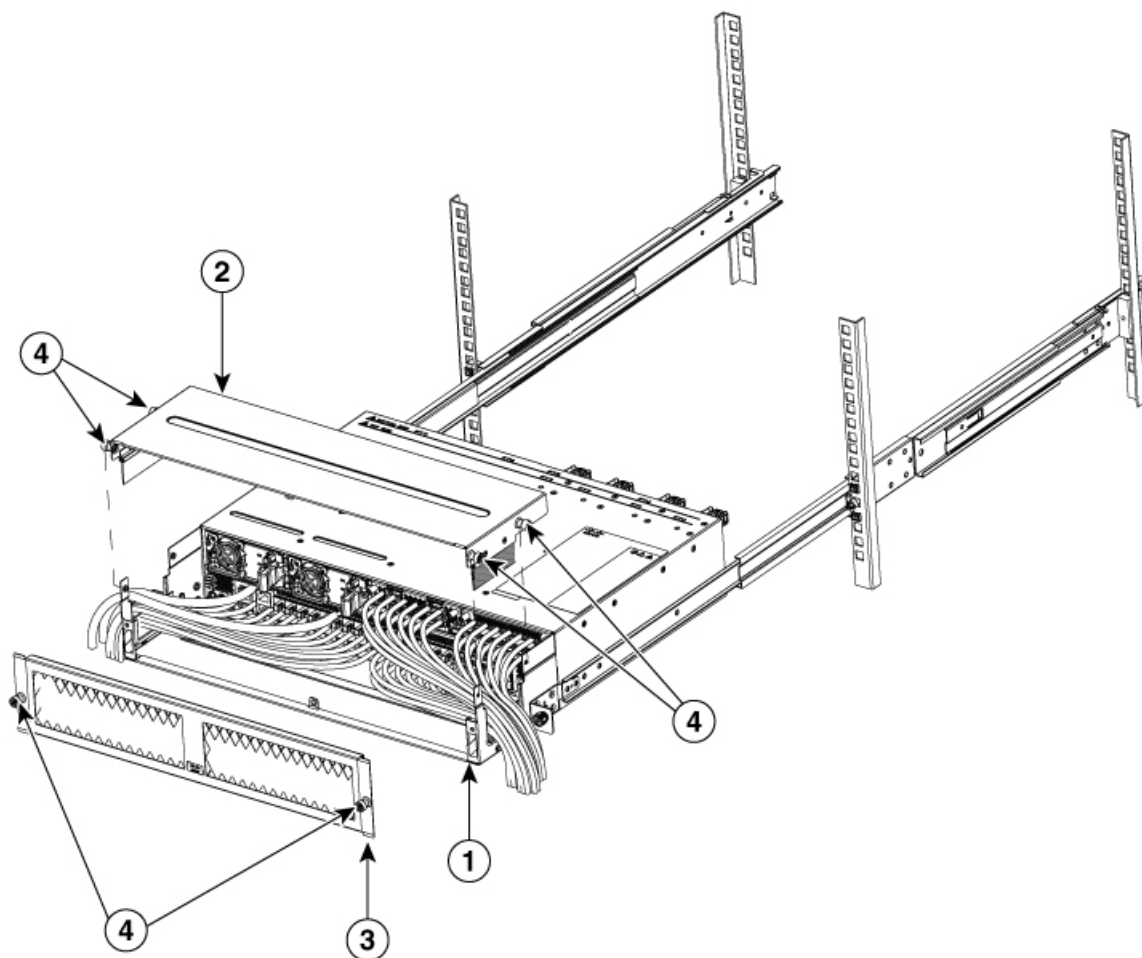
1	エアフィルタボックス：トレイ	2	M4 x 8 プラスさらネジ
3	内側スライダメンバ		

2. 4本の M4 x 8 ネジを 12 インチポンド（1.4 N-m）まで締め、エアフィルタボックスのトレイを内側スライダメンバに固定します。
3. もう一方の内側スライダメンバで、1a ~ 1b を繰り返します。

ステップ2 システム、モジュール、ケーブルなどを設定します。

ステップ3 エアフィルタボックスの上部カバーを置き、トレイの位置に合わせます。上部カバーの両側にある取り付けネジを使用して締めます。次の図を参照してください。

図 22: エアフィルタボックスの上部カバーの取り付け



355961

1	エアフィルタボックス：トレイ	2	上部カバー
3	前面フィルタ	4	取り付けネジ

ステップ 4 前面フィルタの前面プレートをエアフィルタアセンブリの位置に合わせます。正しい向きとなるように、シスコのロゴが前面フィルタの前面プレートの下部中央にあることを確認します。前面フィルタの両側の取り付けネジを締めます。

ステップ 5 取り付けネジを使用してシャーシをラックに固定します。

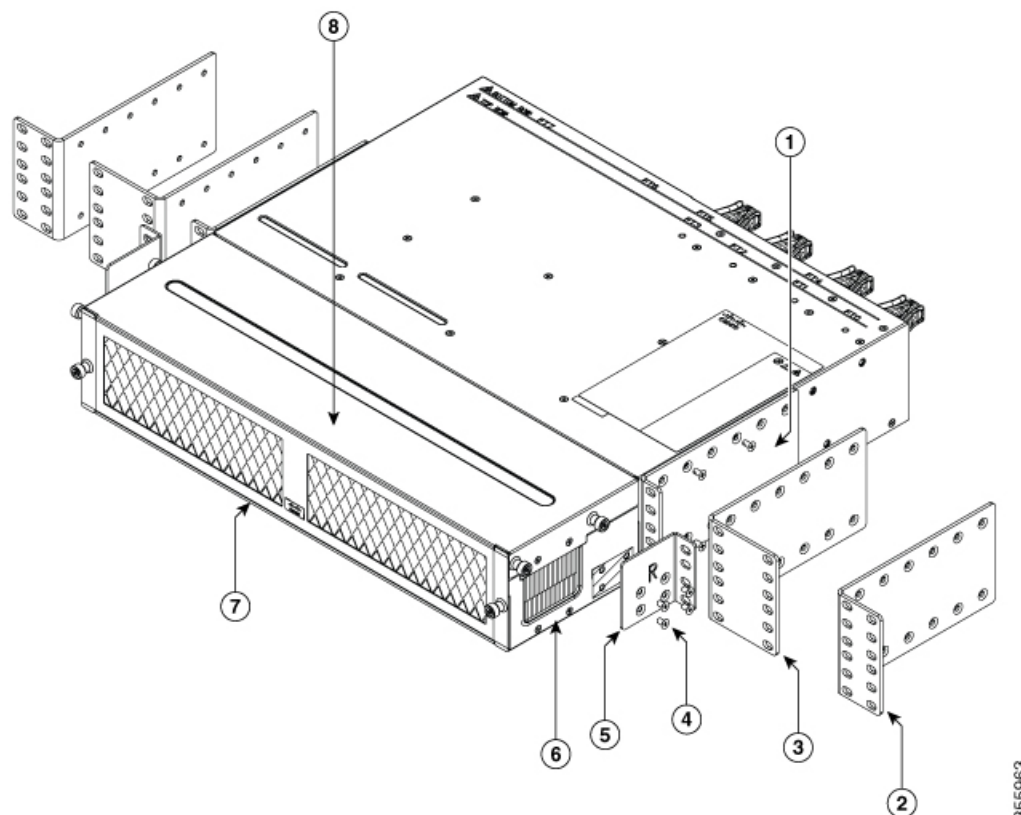
2 支柱ラックのシャーシへのエアフィルタの取り付け （ポート側吸気口）

この手順では、Cisco NCS-55A2-MOD-HD-S、Cisco NCS-55A2-MOD-HX-S、および Cisco NC55A2-MOD-SE-H-S シャーシの 2 支柱ラック（ポート側吸気口）にエアフィルタを取り付けます。

ステップ 1 シャーシを平らな面に置き、シャーシの両側にブラケット（19 インチ、23 インチ、または ETSI）を取り付けます。12 インチポンド（1.4 N-m）の 4 本の M4 さらネジを使用して、ブラケットをシャーシに固定します。

ステップ 2 エアフィルタボックスをシャーシの前面に置き、左側と右側のアダプタブラケットを取り付けて、エアフィルタボックスをシャーシに固定します。12 インチポンド（1.4 N-m）の 4 本の M4 さらネジを使用して、各側でエアフィルタボックスをシャーシに固定します。

図 23: 2 支柱ラックのシャーシへのエアフィルタの取り付け



1	ラックマウントブラケット : 48.3 cm (19 インチ)	2	ラックマウントブラケット : ETSI
3	ラックマウントブラケット : 58.4 cm (23 インチ)	4	M4 プラスさらネジ

5	アダプタブラケット	6	エアーフィルタボックス：トレイ
7	前面フィルタ	8	上部カバー

ステップ3 ユニットアセンブリを（シャーシとエアーフィルタボックスを一緒に）持ち上げ、適切なラックサイズに取り付けます。

（注） ケーブル管理のために、エアーフィルタボックスの上部カバーと前面フィルタの前面プレートを取り外すことができます。

シャーシの接地



警告 ステートメント 1024

この装置は、接地させる必要があります。絶対にアース導体を破損させたり、アース線が正しく取り付けられていない装置を稼働させたりしないでください。アースが適切かどうかはつきりしない場合には、電気検査機関または電気技術者に確認してください。



警告 ステートメント 1046

装置を設置または交換する際は、必ずアースを最初に接続し、最後に取り外します。



警告 ステートメント 1025

必ず銅の導体を使用してください。



注意 ラックがすでにアースされている場合でも、シャーシをアースすることが必要です。シャーシには、アースラグまたはアースカバープレートを接続するための、ネジ穴が2つあるアースパッドが付いています。アースラグは、NRTL 認証済みである必要があります。また、銅の導体（線）を使用する必要があり、この導体は許容電流の NEC 規定に適合していなければなりません。

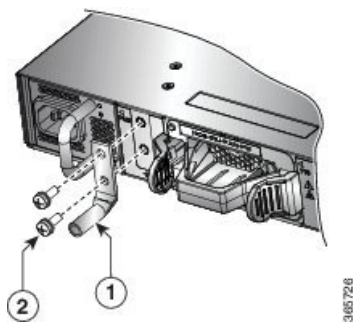


注意 フレームアースの終端時には、はんだ付けラグコネクタ、ネジなし（押し込み）コネクタ、高速接続コネクタ、またはその他の疲弊式コネクタを使用しないでください。

- ステップ1 ワイヤストリッパを使用して、#6AWGアース線の端から19mm（0.75インチ）ほど、被膜をはがします。
- ステップ2 むき出しになったアースケーブルの端を、アースラグの開放端に差し込みます。
- ステップ3 圧着工具を使用して、アースラグにアースケーブルを固定します。
- ステップ4 アースケーブルを取り付けます。

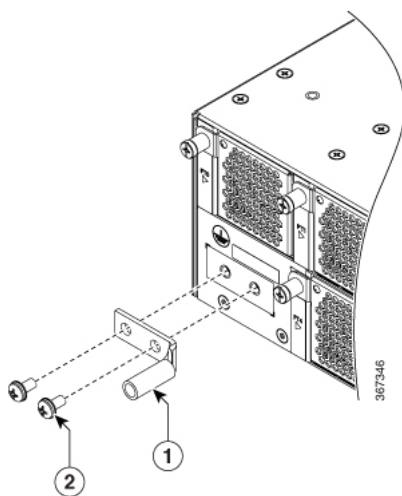
- Cisco NCS-55A1-24H、Cisco NCS 5501、Cisco NCS 5501-SE、Cisco NCS-55A1-48Q6H、Cisco NCS-55A1-24Q6H-S、Cisco NCS-55A1-24Q6H-SS、Cisco NCS-55A2-MOD-S、Cisco NCS 55A2-MOD-SE-S、Cisco NCS-55A2-MOD-HX-S、Cisco NC55A2-MOD-SE-H-S、Cisco NCS-55A2-MOD-HD-S：シャーシのアースパッドから、粘着ラベルを剥がします。金属どうしがぴったり接触するように、アースラグをアースパッド上に重ね、アースラグとアースパッドの穴に、ワッシャ付きの2本のM4またはM5ネジを差し込みます。

図 24：Cisco NCS-55A1-24H、Cisco NCS 5501、Cisco NCS 5501-SE、Cisco NCS-55A1-48Q6H、Cisco NCS-55A1-24Q6H-S および Cisco NCS 55A2-MOD-SE-S アースラグ



1	アースラグ	2	M5 X 12 mm なべ頭ネジ
---	-------	---	------------------

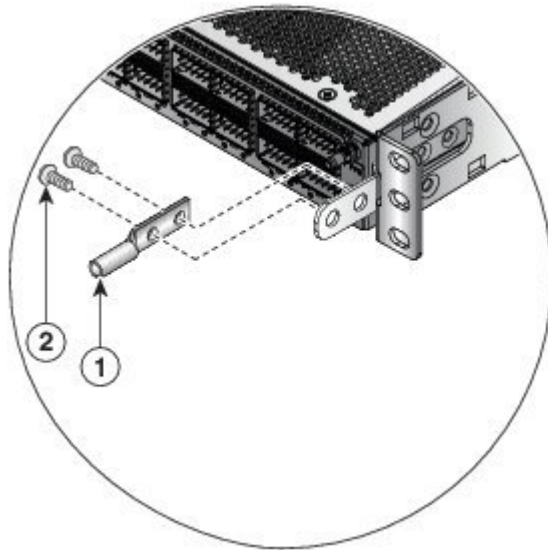
図 25：Cisco NCS-55A2-MOD-S、Cisco NCS 55A2-MOD-SE-S、Cisco NCS-55A2-MOD-HX-S、Cisco NC55A2-MOD-SE-H-S、および Cisco NCS-55A2-MOD-HD-S アースラグ



1	アースラグ	2	M4 X 8 mm なべ頭ネジ
---	-------	---	-----------------

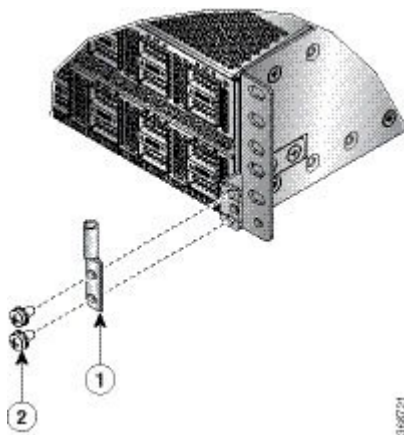
- Cisco NCS 55A1-36H-S、Cisco NCS 55A1-36H-SE-S、NCS 5502、NCS 5502-SE : 指定のデュアルホールラグコネクタを使用して、シェルフアースケーブル (#6 AWG ケーブル) の片端をアースカバープレートに取り付けます。

図 26: NCS 55A1-36H-S、Cisco NCS 55A1-36H-SE-S のアースラグ



1	アースラグ	2	M4 X 6 mm なべ頭ネジ
---	-------	---	-----------------

図 27: NCS 5502 のアースラグ



1	アースラグ	2	M4 X 8 mm なべ頭ネジ
---	-------	---	-----------------

ステップ 5 トルク値 11.5 インチポンド (1.3 N-m) で、なべ頭ネジを締めます。

ステップ 6 アースラグおよびアース線が他の機器の妨げにならないことを確認します。

ステップ 7 アース線の反対側の端を処理し、設置場所の適切なアースに接続して、シャーシに十分なアースが確保されるようにします。

シャーシへの AC 電源の接続



注意 シャーシは、短絡、過電流、および地絡から保護するために、設置する建物の保護装置に依存します。保護デバイスが地域および国の電気規則に準拠していることを確認してください。



(注) **Cisco NCS-55A1-24H、Cisco NCS 5501、Cisco NCS 5501-SE、Cisco NCS-55A1-48Q6H、Cisco NCS-55A1-24Q6H-S、Cisco NCS-55A1-24Q6H-SS** : 全 1100 W の送出電力を供給する場合の公称定格電圧値は 100 V ~ 240 V の範囲です (それぞれの国の標準に依存)。

Cisco NCS 55A2-MOD-S、Cisco NCS 55A2-MOD-SE-S、Cisco NCS-55A2-MOD-HX-S、Cisco NC55A2-MOD-SE-H-S : 全 1200 W の送出電力を供給する場合の公称定格電圧値は 100V ~ 240V の範囲です (それぞれの国の標準に依存)。

Cisco NCS 55A1-36H-S、Cisco NCS 55A1-36H-SE-S、Cisco NCS 5502、Cisco NCS 5502-SE : 全 2000 W の送出電力を供給する場合の公称定格電圧値は 200V ~ 240V の範囲です (それぞれの国の標準に依存)。



(注) 取り付けにはデュアルポールブレーカーが必要です。デュアルポールブレーカーの定格は、20 A (110V) および 16 A (220V) です。最小ケーブルサイズは、14 AWG (110V) および 16 AWG (220V) です。

ステップ 1 AC ケーブルが適切な AC 電源パネルに取り付けられていることを確認します。

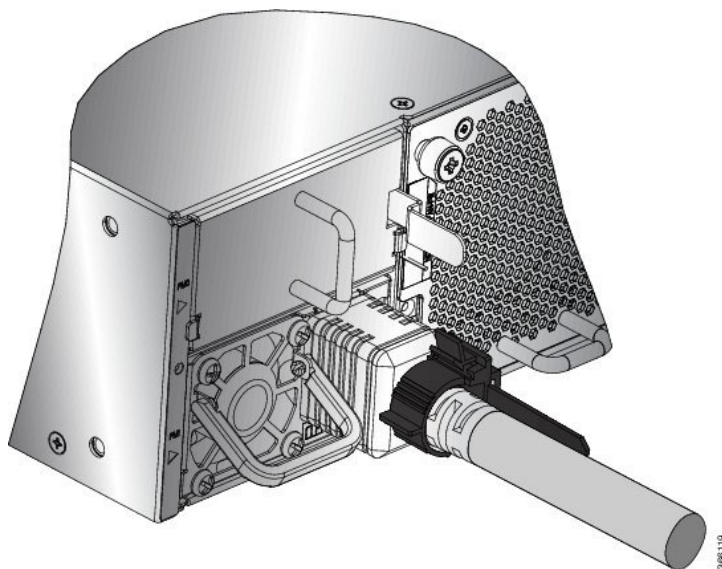
ステップ 2 AC 電源モジュールのケーブルコネクタに AC 電源コードを接続します。

ステップ 3 ケーブルクランプの開口部にケーブルを通します。

ステップ 4 ケーブルクランプをプラグに向けてスライドさせます。

ステップ 5 電源ケーブルの接続部をケーブルクランプで締めて電源ケーブルを固定します。

図 28: ケーブル クランプ : 例



シャーシへの DC 電源の接続



警告 ステートメント 1003

次の手順を実行する前に、DC 回路に電気が流れていないことを確認してください。



警告 ステートメント 1022

容易にアクセス可能な二極切断装置を固定配線に組み込む必要があります。



警告 ステートメント 1045

この製品は、設置する建物に回路短絡（過電流）保護機構が備わっていることを前提に設計されています。一般および地域の電気規格に準拠するように設置する必要があります。



警告 ステートメント 1046

装置を設置または交換する際は、必ずアースを最初に接続し、最後に取り外します。



警告 ステートメント 1074

機器は地域および国の電気規則に従って設置する必要があります。

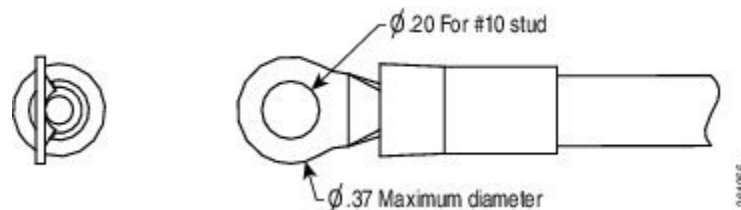
スイッチに DC 電源モジュールを取り付ける前に、DC 電源コネクタに別売りの DC 接続ケーブルを接続する必要があります。240～380VDC 電源装置の場合、二極ブレーカーまたはヒューズ定格は 20 A です。40～72 VDC 電源装置の場合、単極ブレーカーまたはヒューズ定格は 40 A です。

シャーシへの DC 電源の接続 : NCS-950W-DCFW-A

始める前に

次の図に示されているように、各 DC 入力電源ケーブルは、ケーブル端子によって配電ユニット (PDU) で終端します。

図 29: DC 入力電源ケーブル用端子



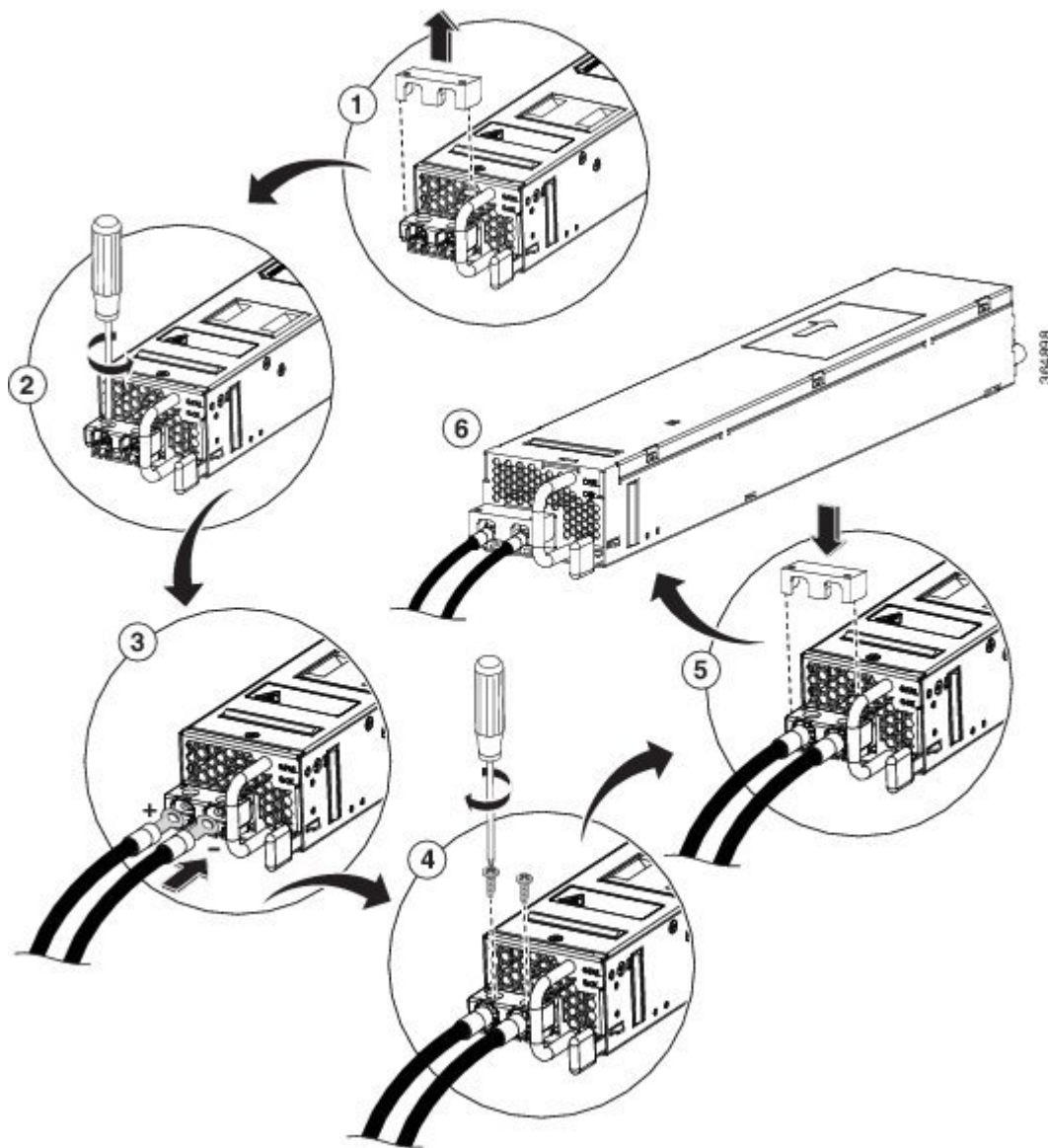
(注) 感電の危険を防止するために、DC 入力電源が露出する部分にあるすべての部品は適切に絶縁する必要があります。したがって、DC ケーブル端子を取り付ける前に、その製造元の指示に従ってラグを必ず絶縁しておきます。

DC 電源コネクタは、DC 電源モジュールのアクセサリキットに含まれています。

ステップ 1 電源からの回路ブレーカーをオフにします。

ステップ 2 端子ブロックからプラスチック カバーを外します。

図 30: DC 電源の接続 : NCS-950W-DCFW-A



ステップ 3 コネクタから止めネジを取り外します。

ステップ 4 コネクタの右開口部に黒い線 (DC マイナス) を挿入し、コネクタの左開口部に赤い線 (DC プラス) を挿入します。

ステップ 5 接続止めネジを再び取り付け、0.65 Nm のトルク値で締めます。

(注) 0.7 Nm 以上締めないでください。

ステップ 6 端子ブロックのプラスチックカバーを元に戻します。端子ブロックの形状に合致するように、プラスチックカバーは形状調整が施され、ケーブルを通すスロットが空けてあります。

ステップ7 電源で回路ブレーカーをオンにします。

シャーシへの DC 電源の接続 : NCS-950W-DCFw



注意 シャーシは、短絡、過電流、および地絡から保護するために、設置する建物の保護装置に依存します。保護デバイスが地域および国の電気規則に準拠していることを確認してください。



(注) DC 電源コネクタは、DC 電源モジュールのアクセサリキットに含まれています。

ステップ1 上部のマウントスペースに正しいヒューズパネルが取り付けられていることを確認します。

ステップ2 ヒューズパネルからシャーシまでの必要なケーブルの長さを測定し、ケーブルを切断します。

(注) 10 ~ 12 AWG 線を使用します。

ステップ3 現地の規則に従って電力を調整します。

ステップ4 ヒューズパネルの工業規格に従って、オフィスバッテリーと帰線ケーブルを接続します。

ステップ5 次のように、電源モジュールから DC 電源コネクタブロックを取り外します。

- a) 小型マイナス ドライバを使用して、コネクタ側面のパネル取り付けネジを緩めます。
- b) コネクタブロックを電源モジュールから引き出します。

ステップ6 次のいずれかを実行します。

- DC ワイヤから絶縁体を 10 mm (0.4 インチ) を剥ぎ取ります。
- 製造元の指示に従って、電源ケーブルにワイヤフェルール (4 mm² ~ 6 mm²) を取り付けます。

(注) ワイヤフェルールを使用すると、ワイヤとコネクタの間が安全に接続されます。

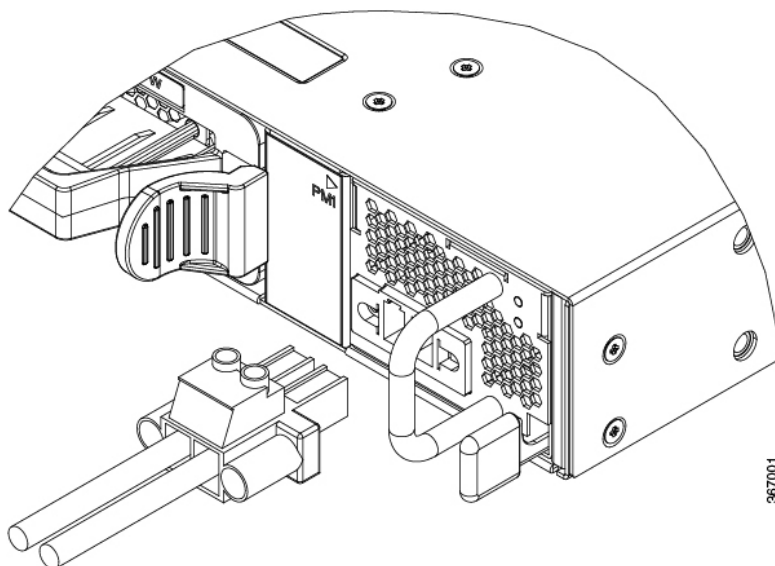
ステップ7 コネクタの右開口部に黒い線 (DC マイナス) を挿入し、コネクタの左開口部に赤い線 (DC プラス) を挿入します。

ステップ8 小型マイナス ドライバを使用して、次のトルク値で DC 入力コネクタ上のバネ式保持具を締めます。

- 4 mm² 以下の裸線 : 0.5 Nm ~ 0.6 Nm
- 4 mm² を超える裸線 : 0.7 Nm ~ 0.8 Nm
- ワイヤフェルール : 0.7 Nm

ステップ9 DC コネクタを電源モジュールの DC レセプタクルに差し込みます。

図 31 : DC 電源の接続 : NCS-950W-DCFW



ステップ 10 小型マイナス ドライバを使用して、0.5 ~ 0.8 のトルク値でパネル固定ネジを締めます。

ステップ 11 電源で回路ブレーカーをオンにします。

シャーシへの DC 電源の接続 : NC55-930W-DCFW、NC55-900W-DCFW-HD、NC55-2KW-DC



注意 シャーシは、短絡、過電流、および地絡から保護するために、設置する建物の保護装置に依存します。保護デバイスが地域および国の電気規則に準拠していることを確認してください。

ステップ 1 上部のマウントスペースに正しいヒューズパネルが取り付けられていることを確認します。

ステップ 2 ヒューズパネルからシャーシまでの必要なケーブルの長さを測定し、ケーブルを切断します。

(注) 10 ~ 12 AWG 線を使用します。

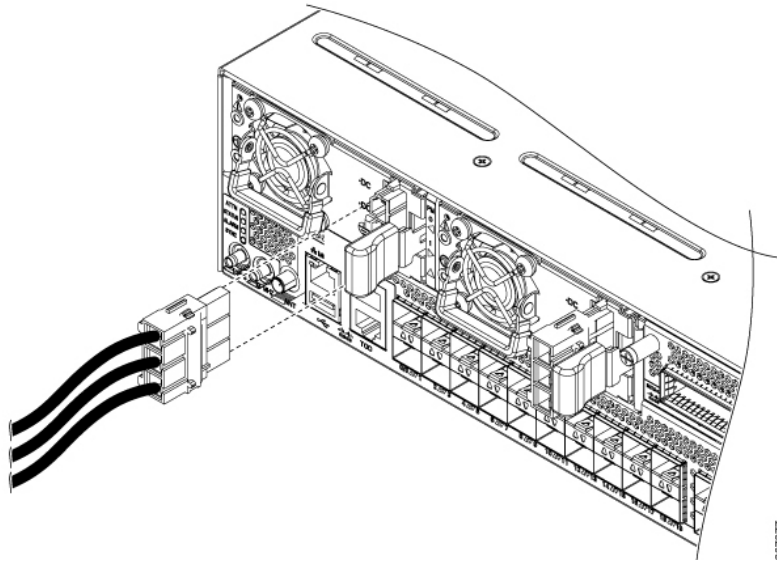
ステップ 3 現地の規則に従って電力を調整します。

ステップ 4 ヒューズパネルの工業規格に従って、オフィスバッテリーと帰線ケーブルを接続します。

ステップ 5 DC コネクタを電源モジュールの DC レセプタクルに差し込みます。

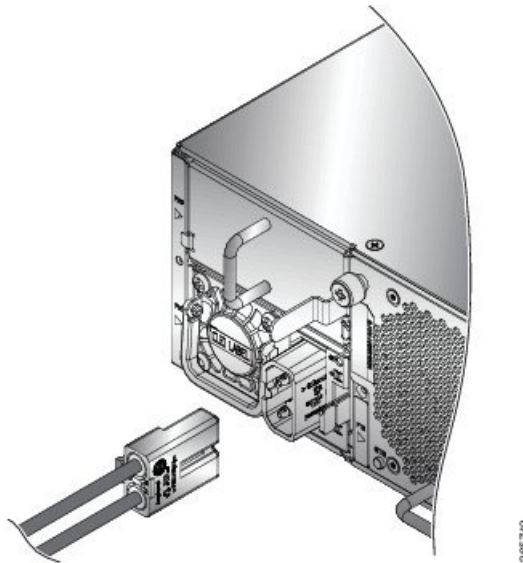
(注) NC55-930W-DCFW 電源ユニットおよび NC55-900W-DCFW-HD 電源ユニットの場合は、CAB-48DC-40A-8AWG 電源コードを注文してください。NC55-2KW-DC 電源ユニットの場合は、PWR-2KW-DC-CBL 電源コードを注文してください。

- 図 32 : DC 電源の接続 : *NC55-930W-DCFW* および *NC55-900W-DCFW-HD*



ケーブルを固定するロック機構がかみ合っていることを確認します。

- 図 33 : DC 電源の接続 : *NC55-2KW-DC*



ケーブルを固定するロック機構がかみ合っていることを確認します。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。